

追加情報

- ・本書では、操作設定編に追加する情報を記載しています。本機の取扱説明書 操作設定編とあわせてお読みください。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書対象の機種につきましては「記号について」に記載の品番をご確認ください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

記号	使用できる機種
【SSeriesS】	WV-S1135VUX、WV-S1536LUX、WV-S1536LBUX、WV-S2135UX、 WV-S2136LBUX、WV-S1536LNS、WV-S1136UX、WV-S1536LTNUX、 WV-S2136LUX、WV-S2536LNUX、WV-S2536LTNUX、WV-S2136LD、 WV-S1536LDN、WV-S1136D
【SSeriesH】	WV-S15700-V2LN、WV-S15700-V2LK、WV-S25700-V2LN、 WV-S15500-V3LN、WV-S25500-V3LN、WV-S22500-V3L
【fisheye】	WV-S4176UX、WV-S4576LUX、WV-S4156UX、WV-S4556LUX
【Multi】	WV-S8543LUX、WV-S8544LUX、WV-S8573LUX、WV-S8574LUX
【miniAI】	WV-S7130UX、WV-S7130WUX
【miniL】	WV-B71300-F3、WV-B71300-F3W、WV-B71300-F3-1、WV-B71300-F3W1
【PTZ S】	WV-S65340-Z4K、WV-S65340-Z4N、WV-S61302-Z4、WV-S65340-Z2K、 WV-S65340-Z2N、WV-S65340-Z2N1、WV-S65340-Z4N1、WV-S61301-Z2、 WV-S61301-Z1、WV-S61300-ZY、WV-S65302-Z2、WV-S65302-Z2-1、 WV-S65301-Z1、WV-S65301-Z1-1、WV-S65301-Z1S、WV-S65300-ZY、 WV-S65501-Z1、WV-S61501-Z1
【PTZ B】	WV-B65302-Z2、WV-B61301-Z2、WV-B65301-Z1、WV-B61301-Z1、 WV-B65300-ZY、WV-B61300-ZY
【PT】	WV-B51300-F3、WV-B51300-F3W、WV-B54300-F3、WV-B54300-F3W
【Z4】	WV-S65340-Z4K、WV-S65340-Z4N、WV-S61302-Z4、WV-S65340-Z4N1
【Z2】	WV-S65340-Z2K、WV-S65340-Z2N、WV-S65340-Z2N1、WV-S61301-Z2、 WV-S61301-Z2、WV-S65302-Z2、WV-S65302-Z2-1、WV-B65302-Z2、 WV-B61301-Z2、WV-B61301-Z2、WV-B65302-2
【Z1】	WV-S61301-Z1、WV-S65501-Z1、WV-S61501-Z1、WV-S65301-Z1、 WV-S65301-Z1-1、WV-S65301-Z1S、WV-B65301-Z1、WV-B61301-Z1

【ZY】	WV-S61300-ZY、WV-S65300-ZY、WV-B61300-ZY、WV-B65300-ZY
------	---

下記は【SSeriesS】の機種の記事になります。

【S113x】：WV-S1135VUXで使用できる機能です。

【S1536L】：WV-S2136LBUX、WV-S1536LUX、WV-S1536LBUX、WV-S1536LNSで使用できる機能です。

【S21x5】：WV-S2135UXで使用できる機能です。

下記は【fisheye】の機種の記事になります。

【fisheye5M】：WV-S4156UX、WV-S4556LUXで使用できる機能です。

【fisheye9M】：WV-S4176UX、WV-S4576LUXで使用できる機能です。

下記は【Multi】の機種の記事になります。

【S854xL】：WV-S8543LUX、WV-S8544LUXで使用できる機能です。

【S857xL】：WV-S8573LUX、WV-S8574LUXで使用できる機能です。

・ソフトウェア Ver.1.31 【SSeriesS】

No.	機能	対応画面	記載箇所
1	RAM容量拡張モードを追加	機能拡張ソフトウェア-ソフトウェア管理	→1
2	LLDP機を追加	ネットワーク-アドバンス	→2

・ソフトウェア Ver.1.40 【SSeriesS】

No.	機能	対応画面	記載箇所
3	かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加	かんたん設定-イベント動作	→3
4	SDメモリーカードの「保存モード」に「SFTP定期送信エラー時」を追加【S1536L】	基本-SDメモリーカード	→4
5	アラーム連動動作にSFTP設定へのリンクを追加	アラーム	→5
6	SFTPによる送信機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→6
7	スケジュールの「動作モード」にSFTP定期送信を追加	スケジュール	→7
8	機能拡張ソフトウェアモードOn時に録画機能を使用できるよう変更【S1536L】	基本-SDメモリーカード	→8
9	SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更【S1536L】	基本-SDメモリーカード	→9
10	独自アラーム通知に機能拡張ソフトウェアの試用期間満了時を追加	アラーム-通知	→10

・ソフトウェア Ver.1.40 【SSeriesS】 (続き)

No.	機能	対応画面	記載箇所
11	NTPテスト機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→11
12	HTTPSにTLS設定を追加	ネットワーク-アドバンス	→12
13	MQTT機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→13
14	MQTT機能の失敗時にシステムログを追加	メンテナンス-ステータス	→14

・ソフトウェア Ver.2.10

No.	機能	対応画面	記載箇所
15	新しいGUI(Graphical User Interface)に変更 【Multi】【miniL】を除く	-	→15
16	AI-VMDアラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加【miniL】を除く	アラーム-通知	→16
17	i-PRO Remo. Service 接続機能を追加 【SSeriesS】【miniL】[WV-S1536LNSJ]を除く	ネットワーク	→17
18	映像配信ログをステータス画面に追加	メンテナンス-ステータス	→18

・ソフトウェア Ver.2.10 【miniAI】

No.	機能	対応画面	記載箇所
3	かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加	かんたん設定-イベント動作	→3
4	SDメモリーカードの「保存モード」に「SFTP定期送信エラー時」を追加	基本-SDメモリーカード	→4
5	アラーム連動動作にSFTP設定へのリンクを追加	アラーム	→5
6	SFTPによる送信機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→6
7	スケジュールの「動作モード」にSFTP定期送信を追加	スケジュール	→7
8	機能拡張ソフトウェアモードOn時に録画機能を使用できるよう変更	基本-SDメモリーカード	→8
9	SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更	基本-SDメモリーカード	→9
19	アラームテスト機能を追加	アラーム	→19
10	独自アラーム通知に機能拡張ソフトウェアの試用期間満了時を追加	アラーム-通知	→10
2	LLDP機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→2
11	NTPテスト機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→11
12	HTTPSにTLS設定を追加	ネットワーク-アドバンス	→12

・ソフトウェア Ver.2.10 【miniAI】(続き)

No.	機能	対応画面	記載箇所
13	MQTT機能を追加	ネットワーク-アドバンス	→13
14	MQTT機能の失敗時にシステムログを追加	メンテナンス-ステータス	→14

・ソフトウェア Ver.2.20

No.	機能	対応画面	記載箇所
-	新規品番追加 WV-S1136UX、WV-S1536LTNUX、WV-S2136LUX、WV-S2536LNUX、WV-S2536LTNUX、WV-S4176UX、WV-S4576LUX、WV-S4156UX、WV-S4556LUX 上記品番について、Ver.2.20より前のファームは使用できません。	-	-
17	i-PRO Remo. Service接続機能を追加 【SSeriesS】【miniAI】【PTZ S】【PTZ B】	ネットワーク-i-PRO Remo.Service	→17
17	i-PRO Remo. Service有効設定時、ストリーム(4)の解像度を「QVGA」固定にする制限を追加。 「登録に失敗する場合」に確認事項を追加。 対応機種に関する参照先の案内を追加。 【SSeriesS】【miniL】	ネットワーク-i-PRO Remo.Service	→17
20	ファイル転送機能の通信プロトコルにFTPを追加 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	ネットワーク-アドバンス	→20
21	かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	かんたん設定-イベント動作	→21
22	SDメモリーカード「保存モード」の「SFTP定期送信エラー時」を「FTP/SFTP定期送信エラー時」に変更<SDメモリーカード対応機種のみ> 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	基本-SDメモリーカード	→22

・ソフトウェア Ver.2.20 (続き)

No.	機能	対応画面	記載箇所
23	アラーム連動動作「SFTP設定へ」のリンクを「FTP/SFTP設定へ」に変更 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	アラーム	→23
24	ネットワーク「IPv6/v4共通」設定に「カメラへのFTPアクセス」を追加 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	ネットワーク-ネットワーク	→24
25	スケジュール「動作モード」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	スケジュール	→25
26	システムログにFTP/SFTPに関するログを追加 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	その他-システムログ表示について	→26
27	機能拡張ソフトウェア機能を追加 【miniL】【PTZ B】	機能拡張ソフトウェア-ソフトウェア管理	→27
28	機能拡張ソフトウェアモードを追加<SDメモリーカード対応機種のみ>	基本-SDメモリーカード	→28
29	Stratocast Service 接続機能を追加 【SSeriesS】	ネットワーク-Stratocast	→29
30	無線通信ユニットに関する設定画面を追加 WV-B65300-ZY、WV-B65301-Z1、WV-B65302-Z2	ネットワーク	→30
31	HTML初期化機能を追加 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】 【miniL】【PTZ S】【PTZ B】	メンテナンス-初期化	→31

・ソフトウェア Ver.2.25 (WV-S2136LD、WV-S1536LDN、WV-S1136D)

No.	機能	対応画面	記載箇所
-	新規品番追加 WV-S2136LD、WV-S1536LDN、WV-S1136D 上記品番について、Ver.2.25より前のファームは使用できません。	-	-

・ソフトウェア Ver.2.26 (WV-B65300-ZY、WV-B65301-Z1、WV-B65302-Z2)

No.	機能	対応画面	記載箇所
32	無線通信ユニットに位置情報 (GPS) 取得機能を追加 WV-B65300-ZY、WV-B65301-Z1、WV-B65302-Z2	ネットワーク-無線通信ユニット	→32

・ソフトウェア Ver.2.30

No.	機能	対応画面	記載箇所
33	FTP/SFTPの画像更新速度に2fps、3fpsを追加、プレアラームの解像度に1920x1080を追加、画像送信先サーバーを2か所に拡張 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	ネットワーク-アドバンス	→33
34	アラーム無検知時間に0.5s、1s、2s、3s、4sを追加 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	アラーム	→34
35	日出・日入の時刻に画質を切り替えるスケジュール設定を追加 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	スケジュール	→35
36	SNMPエージェント設定に有効/無効の設定を追加 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	ネットワーク-SNMP	→36
37	撮像モードにコリドービューモードを追加 【fisheye】	ライブ画像の種類-撮像モード	→37
38	ストリーム(1)、ストリーム(2)の解像度に1280x720を追加 (4Mピクセルモデルのみ) 【Multi】	ストリーム映像/音声-映像	→38
39	カメラタイトル横にタイトル編集アイコン追加 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	PCから画像を見る-ライブ画ページ	→39

・ソフトウェア Ver.2.30 (続き)

No.	機能	対応画面	記載箇所
40	i-PRO Remo. Serviceを使用する時の制限に関するお知らせを追加 【miniAI】【miniL】【SSeriesS】【SSeriesH】 【PTZ S】【PTZ B】【PT】	ネットワーク	→40

・ソフトウェア Ver.2.33

No.	機能	対応画面	記載箇所
41	「SDメモリーカード」設定に「SDメモリーカードファイルシステム形式」追加 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PTZ B】【PT】	基本-SDメモリーカード	→41
42	i-PRO Remo. Serviceを80番以外のHTTPポートでも利用できるように拡張 【miniAI】【miniL】【SSeriesS】【SSeriesH】 【PTZ S】【PTZ B】【PT】	ネットワーク	→42
43	i-PRO Remo. ServiceをHTTPS接続でも利用できるように拡張 【miniAI】【miniL】【SSeriesS】【SSeriesH】 【PTZ S】【PTZ B】【PT】	ネットワーク	→43

・ソフトウェア Ver.2.40

No.	機能	対応画面	記載箇所
17	i-PRO Remo. Service接続機能を追加 【fisheye】	ネットワーク- i-PRO Remo.Service	→17
30	無線通信ユニットに関する設定画面を追加 WV-S65300-ZY、WV-S65301-Z1、WV-S65302-Z2	ネットワーク-無線通信ユニット	→30
44	GOP制御「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」設定時にフレームレート半減しないように対応 【Multi】	映像/音声-映像	→44
45	プリセットシーケンスの初期値を変更 【Multi】【PTZ S】	PTZ-ポジション	→45

・ソフトウェア Ver.2.40 (続き)

No.	機能	対応画面	記載箇所
46	自動追尾情報付加の初期値を変更 【Multi】【PTZ S】	PTZ – 自動追尾情報付加	→46
47	未登録ユーザーの初期設定値を「使用する」 に変更 【Multi】【PTZ S】	ユーザー認証 – 未登録 ユーザー	→47
48	SNMPをデフォルト状態では使用しない設定 (無効)に変更 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PT】	ネットワーク	→48
49	最長露光時間の設定による自動追尾機能への 影響について 【fisheye】【miniAI】【miniL】【SSeriesS】 【SSeriesH】【Multi】【PTZ S】【PT】	PTZ – 自動追尾設定画面 PTZ – 自動追尾アラーム 設定画面	→49
50	設定データのリストア操作で反映されない設 定について 【PTZ S】	メンテナンス – データ	→50

・ソフトウェア Ver.2.50

No.	機能	対応画面	記載箇所
51	CSR作成画面にSAN(サブジェクト代替名)の入 力欄を追加	基本	→51
52	データ暗号の初期パスワードを変更	ユーザー管理 – データ 暗号	→52
53	HTTPS接続方法の選択肢の名称を変更/ [TLS1.2]の有効/無効を設定可能に変更	ネットワーク – アドバ ンス	→53
54	HTTPアラーム通知に「診断」機能を追加	アラーム – 通知	→54
55	セキュリティに関する設定機能を追加	ユーザー管理	→55
56	SNMP認証方式から「MD5」を削除	ネットワーク – アドバ ンス	→56
57	IEEE 802.1Xの[EAP方式]から[MD5]を削除	ユーザー管理 – IEEE 802.1X	→57
58	ライブ画ページでのH.265描画性能改善	-	→58

・ソフトウェア Ver.2.60

No.	機能	対応画面	記載箇所
59	自動ポジションリフレッシュ機能を追加	PTZ-カメラ動作	→59

1 RAM容量拡張モードを追加

（取扱説明書 操作・設定編 機能拡張ソフトウェアの管理、スケジュール設定を行う [機能拡張ソフトウェア] – 機能拡張ソフトウェアのインストール、アンインストール、バージョンアップを行う [ソフトウェア管理]）

ソフトウェア管理画面に、RAM容量拡張モードを追加しました。

機能拡張ソフトウェアが利用できるRAM容量を増量します。

The screenshot shows a software management interface with three tabs: 'ソフトウェア管理' (Software Management), '動作スケジュール' (Operation Schedule), and '管理ログ' (Management Log). The 'ソフトウェア管理' tab is active. Below the tabs is a table with the following data:

カメラ固有データ	
機器ID番号	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
残ROM容量	1234567890 Bytes
残RAM容量	1234567890 Bytes
SDKバージョン	1.0.0
ソフトウェアバージョン	1.0.0
RAM容量拡張モード	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off

At the bottom of the table is a '設定' (Settings) button.

カメラ固有データ

[RAM容量拡張モード]

RAM容量拡張を行うかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

お知らせ

- ・ RAM容量拡張モードをOnに設定すると、本機機能によるSDメモリーカードへの録画機能は使用できなくなります。
- ・ 残RAM容量にマイナスの値が表示されている場合は、機能拡張ソフトウェアをアンインストールするか、RAM容量拡張モードをOnに設定してください。
- ・ [設定]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。
- ・ RAM容量拡張モードをOnに設定する必要がある機能拡張ソフトウェアの情報は、当社ウェブサイトに記載されています。

<https://cwc.i-pro.com/pages/application-platform-list>

2 LLDP機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス]）

LLDP（Link Layer Discovery Protocol）を [ネットワーク] の [アドバンス] に追加しました。カメラのデバイス情報をLLDP対応機器と送受信することで、相互運用を実現することができます。

ネットワーク | アドバンス

SMTP(メール) | NTP | UPnP | HTTPS | DDNS | SNMP | QoS | SRTP | MQTT | **LLDP**

LLDP 有効 無効

「有効」に設定すると、Fabric Attachも有効になります。
PoE+電源供給に対応している機種は、「LLDP」が「無効」でもPoE+電源に接続されたことを検出できます。

Fabric Attach

Fabric Attach 認証鍵

Fabric Attachの接続機器に認証鍵が設定されている場合、同じ認証鍵を設定して下さい。

Fabric Attachで接続できる機器の情報は、当社サポートウェブサイトに記載されています。
注：インターネットに接続していない場合は表示されません。
・日本でご使用の場合
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal
・日本以外でご使用の場合
<https://i-pro.com/global/en/surveillance/training-support/support>

設定

[LLDP]

LLDP機能およびFabric Attachを有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

初期設定：無効

「有効」に設定すると、以下の表のチェックが付いているTLVを含むLLDPを送信します。

End Of LLDPDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※PoE+電源供給に対応している機種は、「無効」に設定していてもPoE+電源供給のために、以下の表のチェックが付いているTLVを含むLLDPを送信します。

End Of LLDPLDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓						✓	

Fabric Attach

[Fabric Attach認証鍵]

Fabric Attach認証に使用する鍵を入力します。なお、「LLDP」が「有効」の時のみ有効です。

入力可能文字数：0~32文字 (Fabric Attach認証を行わない場合、空白にして下さい。)

入力可能文字：半角英数字

初期設定：なし（空白）

お知らせ

- ・ [設定]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。
- ・ Fabric Attachで接続できる機器の情報は、当社サポートウェブサイトに記載されています。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

3 かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] – イベント動作を設定する [イベント動作])

SFTP機能の追加により、かんたん設定の[イベント動作]にSFTP定期送信を追加しました。

インターネット イベント動作

イベント動作の設定を行います。
アラーム検出時の動作、スケジュールへの動作登録を手順に沿って設定します。

【現在の設定】

アラーム	
アラーム条件	無効
アラーム動作	無効
出力端子	無効
メール通知	無効

スケジュール	
スケジュール動作	無効

【注意事項】
・動作条件を変更すると、設定を解除する項目があります。設定完了後、設定内容を確認ください。

次へ

[イベント動作]では、SDスケジュール録画/SFTP定期送信/アラーム検出時のイベント動作を設定できます。各設定画面で設定が完了したら、[次へ] ボタンをクリックして進んでください。

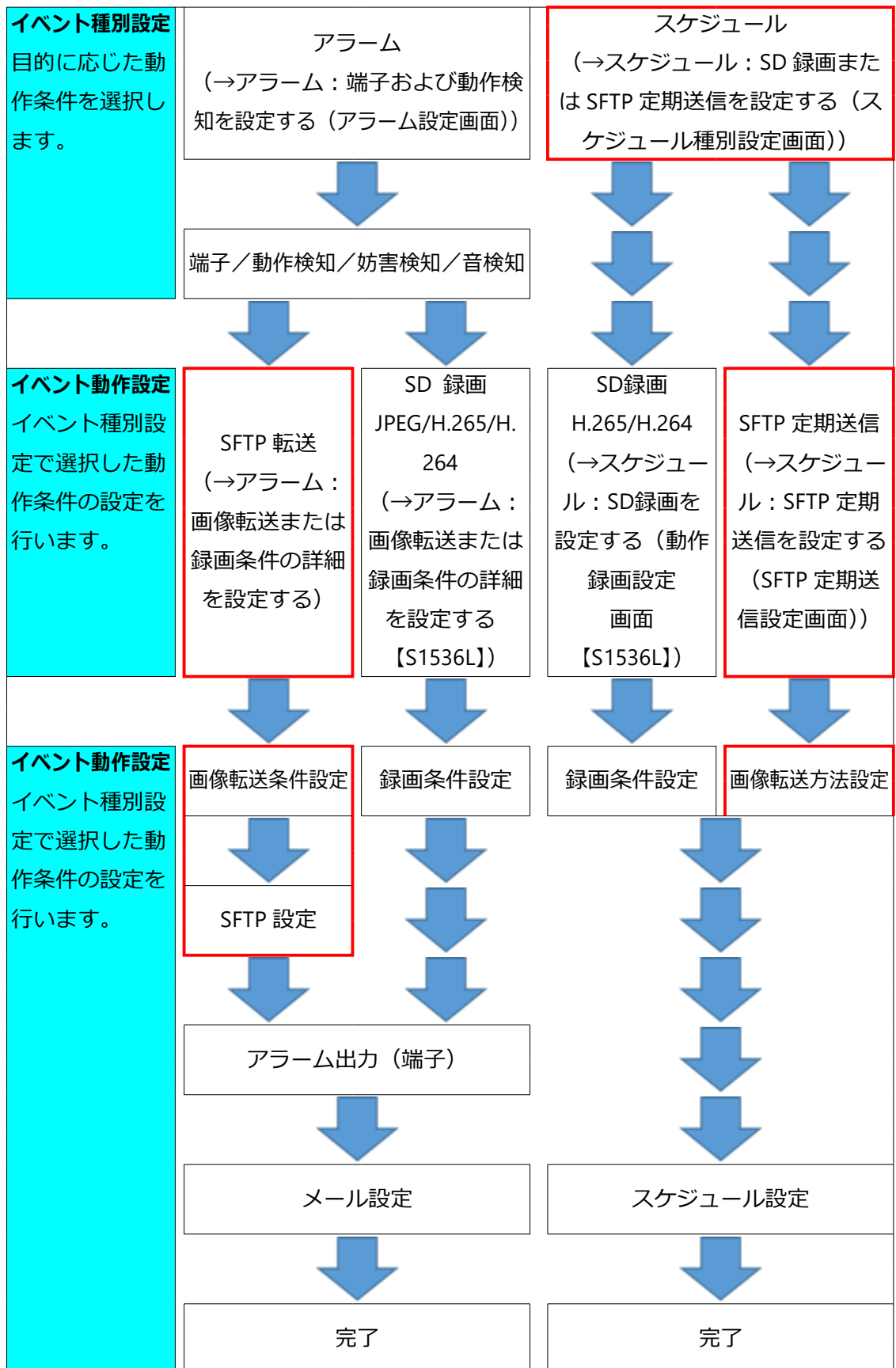
設定の流れは、次のようになります。

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

イベント動作設定の流れ

3 かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加



スケジュール/アラームを設定する（イベント種別設定画面）

（取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - スケジュール/アラームを設定する（イベント種別設定画面））
ここでは、イベントの種別を選択します。

インターネット イベント動作

イベント動作を行うイベントを選択します。
SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

動作条件 アラーム

SDメモリーカードフォーマット 実行

次へ

【動作条件】

アラーム：アラーム検知時の設定をするときに選択します。

スケジュール：「SD録画」「SFTP定期送信」をするときに選択します。


初期設定：アラーム

【SDメモリーカードフォーマット】【S1536L】

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

[実行] ボタンをクリックすると、「フォーマット」確認画面が表示されます。

[OK] ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

「フォーマット」完了画面が表示されたら、 ボタンを押します。

重要

- ・ フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- ・ フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。

【次へ】 ボタン

「アラーム」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。

（→アラーム：端子および動作検知を設定する（アラーム設定画面））

「スケジュール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。（→スケジュール：SD録画またはSFTP定期送信を設定する（スケジュー

ル種別設定画面))

アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面）

（取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面））

ここでは、アラーム種別の[動作条件]を「SFTP転送」「SD録画」から選択します。

また、[録画圧縮方式]を各JPEG/各ストリームから選択します。

[動作条件]

SFTP転送：アラームが発生したときに、JPEG画像をSFTP転送します。

SD録画：アラームが発生したときに、SDメモリーカードに録画します。【S1536L】

お知らせ

- ・ アラーム発生時の「SFTP転送」と「SFTP定期送信」は、両方同時に動作させることができます。
- ・ アラーム発生時の「SFTP転送」と「SFTP定期送信」を同時に設定すると、アラーム発生時の「SFTP転送」が優先されます。

[録画圧縮方式]【S1536L】

録画する画像の圧縮方式をJPEG(1)/JPEG(2)/ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。

[次へ] ボタン

[動作条件] で「SFTP転送」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、SFTP転送設定画面が表示されます。（→③SFTP転送を設定する（SFTP転送設定画面））

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式] で画像圧縮方式JPEG(1)/JPEG(2)のいずれかを選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、JPEG録画設定画面が表示されます。（→②SD録画（JPEG）を設定する（JPEG録画設定画面））【S1536L】

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式] で画像圧縮方式ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)のいずれかを選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。（→SD録画（H.265またはH.264）を設定する（動画録画設定画面））【S1536L】

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。
- ・ 音検知アラームを設定した場合でも、SDメモリーカードへのアラーム録画は実施されません。【S1536L】

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。(→アラーム：端子および動作検知を設定する (アラーム設定画面))

アラーム：画像転送または録画条件の詳細を設定する

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - アラーム：録画条件の詳細を設定する)

③SFTP転送を設定する (SFTP転送設定画面)

ここでは、アラーム検知時のSFTP転送を設定します。

SFTPアラーム設定			
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	[入力欄]		
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <small>※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。</small>		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 6枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		
SFTPサーバー設定			
SFTPサーバーアドレス	[入力欄] 入力例: 192.168.0.10		
ポート	22 (1-65535)		
ホストキーのハッシュ	SHA256: [入力欄] 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0		
ユーザー名	[入力欄]		
パスワード	[入力欄]		
戻る		次へ	

上記画面の設定方法は、[「6. SFTPによる送信機能を追加」](#)を参照してください。

[次へ] ボタン

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム出力設定画面が表示されます。(→アラーム：出力端子を設定する)【S1536L】

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択しないで、[次へ] ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。(→アラーム：メール通知およびメールサーバーを設定する)

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。(→アラーム：アラーム種別を設定する (アラーム種別設定画面))

スケジュール：SD録画またはSFTP定期送信を設定する (スケジュール種別設定画面)

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - スケジュール：SD録画を設定する (スケジュール種別設定画面))

ここでは、スケジュール種別を「SD録画」または「SFTP定期送信」から選択します。

動作条件	SD録画
録画圧縮方式	ストリーム(1) (H.265/1920x1080)

戻る 次へ

[動作条件]

SD録画：スケジュール設定した時間に、H.265 (またはH.264) 画像をSDメモリーカードに録画します。【S1536L】

SFTP定期送信：スケジュール設定した時間に、JPEG画像をSFTPサーバーへ送信します。

[録画圧縮方式]

[動作条件] で「SD録画」を選択した場合に、録画するストリームを、ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。【S1536L】

[次へ] ボタン

「SD録画」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。(→スケジュール：SD録画を設定する (動画録画設定画面)【S1536L】)

「SFTP定期送信」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、SFTP定期送信設定画面が

表示されます。(→スケジュール：SFTP定期送信を設定する (SFTP定期送信設定画面))

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。

(→スケジュール/アラームを設定する (イベント種別設定画面))

お知らせ

- ・ 「SFTP定期送信」と、アラーム発生時の「SFTP転送」は、両方同時に動作させることができます。
- ・ 「SD録画」を選択すると、「SFTP定期送信」の設定は解除されます。【S1536L】

スケジュール：SFTP定期送信を設定する (SFTP定期送信設定画面)

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] – イベント動作を設定する [イベント動作])

ここでは、SFTP定期送信を設定します。

- ・ SFTP定期送信に関する設定を行う場合：

3 かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加

SFTPアラーム設定			
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	<input type="text"/>		
ファイル名	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 ※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 0枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		

SFTPサーバー設定	
SFTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ポート	<input type="text"/> (1-65535) 22
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text"/> 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

上記画面の設定方法は、「[6. SFTPによる送信機能を追加](#)」を参照してください。

[設定]ボタン

「定期送信」が「Off」の場合に表示されます。[設定]をクリックすると、設定を保存します。

[次へ] ボタン

「定期送信」が「On」の場合に表示されます。[次へ] ボタンをクリックすると、SFTP定期送信スケジュールを設定する画面が表示されます。

(→SFTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合)

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。

3 かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加

(→スケジュール：SD録画またはSFTP定期送信を設定する（スケジュール種別設定画面）
)

- ・ SFTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合：

3 かんたん設定の「イベント動作」にSFTP定期送信を追加

インターネット
イベント動作

SFTPサーバーへの画像転送スケジュールを設定します。
登録するスケジュール（1～5）の「動作モード」を「SFTP定期送信」に設定し、画像転送するスケジュールを設定します。
「動作モード」に「SFTP定期送信」が選択されていない場合は、画像転送を行いません。

スケジュール	
スケジュール 1 (白) ■	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h 00 : 00 ~ 00 : 00
スケジュール 2 (青) ■	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h 00 : 00 ~ 00 : 00
スケジュール 3 (緑) ■	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h 00 : 00 ~ 00 : 00
スケジュール 4 (赤) ■	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h 00 : 00 ~ 00 : 00
スケジュール 5 (黒) ■	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h 00 : 00 ~ 00 : 00

	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					

各スケジュールの色は、「動作検知エリア」のエリア色と連動しておりません。
「動作検知許可」を設定した場合は、「動作検知エリア」で設定したすべてのエリアで動作検知が動作します。
「動作検知許可」「妨害検知許可」は検知させたい期間を指定する際に必要です。常時検知させる場合は設定不要です。

戻る
設定

上記画面の設定方法は、スケジュールの設定を行う [スケジュール] を参照してください。

[設定] ボタン

[設定] ボタンをクリックすると、設定を完了します。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、SFTP定期送信設定画面が表示されます。

(→スケジュール：SFTP定期送信を設定する (SFTP定期送信設定画面))

お知らせ

- ・ 「動作モード」で「SFTP定期送信」を未選択の場合は、SFTP定期送信を行いません。

4 SDメモリーカードの「保存モード」に「SFTP定期送信エラー時」を追加 【S1536L】

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う【基本】－SDメモリーカードを設定する【SDメモリーカード】）

SFTP機能の追加により、録画ストリームの「保存モード」に「SFTP定期送信エラー時」を追加しました。

録画ストリーム

【保存モード】

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

- ・ **SFTP定期送信エラー時**: SFTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。「JPEG(1)」、「JPEG(2)」のみ有効。
- ・ **アラーム発生時**: アラームが発生したときに画像を保存します。
- ・ **手動保存**: 画像を手動で保存します。
- ・ **スケジュール保存**: スケジュール設定（→スケジュールの設定を行う【スケジュール】）に従って、画像を保存します。「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」のみ有効。

初期設定：手動保存

[保存モード]で「アラーム発生時」を選択した場合、アラームの種類を以下から選択することができます。

- ・ **端子1**：端子1にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **端子2**：端子2にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **端子3**：端子3にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **動作検知**：動作検知が発生したときに、画像を保存します。
- ・ **妨害検知**：妨害検知が発生したときに、画像を保存します。
- ・ **コマンドアラーム**：コマンドアラームが入力されたときに、画像を保存します。

お知らせ

- ・ [録画圧縮方式]が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、「SFTP定期送信エラー時」は設定できません。
- ・ アラームを発生させるには、[アラーム] タブでアラームを設定してください。
- ・ [録画圧縮方式]が「JPEG(1)」、「JPEG(2)」の場合、「スケジュール保存」は設定できません。

- ・ 弊社製ネットワークディスクレコーダーと接続した場合、[保存モード]が「通信異常検出時」でグレーアウト表示になる場合があります。レコーダーとの接続を外した後に[保存モード]の設定を変更するには、一度[SDメモリーカード]を「使用しない」に設定し、再度「使用する」に設定してください。
- ・ [GOP制御]に「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」を設定したストリームは、アラーム録画に設定できません。
- ・ 音検知のアラーム発生時には、映像録画されません。

5 アラーム連動動作にSFTP設定へのリンクを追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う【アラーム】 - アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】)

アラームページの【アラーム】タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：「表示のしかた」、「操作のしかた」)

ここでは、アラームに連動して動作する機能について設定します。

アラーム連動動作	
アラーム時のメール送信	メール設定へ
アラーム時の画像送信(SFTP送信)	SFTP設定へ
アラーム時の画像保存(SDメモリーカード)	SDメモリーカード設定へ
独自アラーム通知	独自アラーム通知設定へ
HTTPアラーム通知	HTTPアラーム通知設定へ
アラーム時のSNMP送信	SNMP設定へ

- ・ **【アラーム時のメール送信】**

「メール設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のメールに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のメール送信に関する設定を行う)

- ・ **【アラーム時の画像送信 (SFTP送信)】**

「SFTP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSFTP送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のSFTP送信に関する設定を行う)

- ・ **【アラーム時の画像保存 (SDメモリーカード)】【S1536L】**

「SDメモリーカード設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定を行う【S1536L】)

- ・ **【独自アラーム通知】**

「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時の独自アラーム通知送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時の独自アラーム通知に関する設定を行う)

- ・ **【HTTPアラーム通知】**

「HTTPアラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のHTTPアラーム通知送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のHTTP

アラーム通知に関する設定を行う)

・ **【アラーム時のSNMP送信】**

「SNMP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSNMP送信に関する設定画面が別ウィンドウで表示されます。(→アラーム発生時のSNMP送信に関する設定を行う)

アラーム発生時のSFTP送信に関する設定を行う

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う【アラーム】 - アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】)

アラームページの【アラーム】タブで、【アラーム連動動作】の「SFTP設定へ」をクリックします。(→アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】)

設定方法については、この説明書の「6. SFTPによる送信機能を追加」を参照してください。

SFTPアラーム設定			
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	<input type="text"/>		
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <small>※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。</small>		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 6枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		
SFTPサーバー設定			
SFTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10		
ポート	<input type="text"/> (1-65535) 22		
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text"/> 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0		
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="password"/>		
<input type="button" value="戻る"/>		<input type="button" value="次へ"/>	

6 SFTPによる送信機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

SFTP (SSH File Transfer Protocol) 機能を追加し、SSH (Secure Shell)で暗号化されたデータストリームを使って安全に画像をサーバーに送信することができます。

以下の2つの送信機能があります。

- ・ アラーム発生時に画像を送信
- ・ 定期的に画像を送信

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) SFTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP MQTT LLDP			
SFTPアラーム設定			
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	[Redacted]		
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <small>※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。</small>		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 0枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		
SFTP定期送信			
定期送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	[Redacted]		
ファイル名	<input checked="" type="radio"/> ファイル名+日時 <input type="radio"/> ファイル名を固定		
送信間隔	1s		
解像度	JPEG(2) (640x360)		
SFTPサーバー設定			
SFTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10		
ポート	<input type="text"/> (1-65535)		
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text"/> 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0		
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="text"/>		
設定			

SFTPアラーム設定

- ・ **[アラーム画像送信]**

アラームを検出したとき、SFTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : Off

- ・ **[ディレクトリー名]**

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、SFTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。

入力可能文字数：1～256文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」

・ **【ファイル名】**

SFTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存される
ときのファイル名は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

端子1～3は【S1536L】のみ対応しています。

端子1：端子1にアラームが発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

端子2：端子2にアラームが発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

端子3：端子3にアラームが発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

動作検知：動作検知が発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

妨害検知：妨害検知が発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

音検知：音検知が発生したときに、SFTPサーバーへ画像を送信します。

コマンドアラーム：コマンドアラームが入力されたときに、SFTPサーバーへ画像を送信
します。

・ **【プレアラーム】**

・ **画像更新速度**

アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。

[撮像モード]が30fpsモード／15fpsモードに設定されている場合：

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

[撮像モード]が25fpsモード／12.5fpsモードに設定されている場合：

0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps

初期設定：1fps

・ **最大画像枚数**

送信する画像の枚数を以下から選択します。

0枚 / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚* / 7枚* / 8枚* / 9枚* / 10枚* / 20枚* / 30枚* / 40枚* / 50枚*

初期設定：0枚

・ **録画時間**

設定した「画像更新速度」、「最大画像枚数」より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

お知らせ

- ・ 送信する画像の解像度にJPEG(1)を設定する場合、JPEG(1)の解像度が「1920×1080」のときは、プレアラームは設定できません。
- ・ アラーム時の画質制御を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、アラーム時の画質になります。プレアラームの録画には適用されません。
- ・ [プレアラーム]の「最大画像枚数」で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。下記の表は、プレアラームで送信可能な最大画像枚数です。

解像度	画質									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1280x960	5	6	7	8	10	10	10	20	30	40
1280x720	7	8	10	10	10	20	20	30	40	50
VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
640x360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
320x180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

【ポストアラーム】

・ 画像更新速度

アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。

[撮像モード]が30fpsモード／15fpsモードに設定されている場合：

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

[撮像モード]が25fpsモード／12.5fpsモードに設定されている場合：

0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps

初期設定：1fps

・ 画像枚数

送信する画像の枚数を以下から選択します。

1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚 / 7枚 / 8枚 / 9枚 / 10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1000枚 / 1500枚 / 2000枚 / 3000枚

初期設定：100枚

・ 録画時間

設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

・ **【解像度】**

アラーム発生時に送信する画像の解像度を以下から選択します。JPEG(1)/JPEG(2)

初期設定 : JPEG(2)

SFTP定期送信

・ **【定期送信】**

SFTP定期送信を行うかどうかをOn/Offで設定します。「On」に設定した場合は、SFTPサーバーの設定を行ってください。

初期設定 : Off

重要

- ・ SFTP定期送信を使用する場合は、スケジュールページの [スケジュール] タブでSFTP定期送信のスケジュール設定が必要です。(→スケジュールの設定を行う [スケジュール])

・ **【ディレクトリー名】**

送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、SFTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。

入力可能文字数 : 1~256文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」

初期設定 : 空欄

・ **【ファイル名】**

送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。

ファイル名+日時 : 「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」をファイル名として使用します。

ファイル名を固定 : 入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」「:」「/」「*」「<」「>」「?」「¥」「|」

初期設定 : 空欄

お知らせ

- ・ 「ファイル名+日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」のあとに"s"が付加されたファイル名になります。

・ **【送信間隔】**

送信間隔を以下から選択します。1s/2s/3s/4s/5s/6s/10s/15s/20s/30s/
1min/2min/3min/4min/5min/6min/10min/15min/20min/30min/1h/1.
5h/2h/3h/4h/6h/12h/24h

初期設定 : 1s

・ **【解像度】**

送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。JPEG(1)/JPEG(2)

初期設定 : JPEG(2)

SFTPサーバー設定

・ **【SFTPサーバーアドレス】**

画像を送信するSFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数 : 1~128文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- ・ [SFTPサーバーアドレス]のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])

・ **【ポート】**

SFTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。

設定可能ポート番号 : 1~65535

初期設定 : 22

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、
10670

・ **【ホストキーのハッシュ】**

SFTPサーバーの公開鍵のハッシュ値を入力します。

入力可能文字数 : 43~44文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「+」「/」「=」

・ **【ユーザー名】**

SFTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

・ **【パスワード】**

SFTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

7 スケジュールの「動作モード」にSFTP定期送信を追加

(取扱説明書 操作・設定編 スケジュールの設定を行う [スケジュール])

スケジュール設定の「動作モード」に「SFTP定期送信」を追加しました。

[動作モード]

スケジュールの動作を選択します。

初期設定時は「Off」に設定されています。

Off : スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可は【S1536L】のみ対応しています。

アラーム入力許可 (端子1,2,3) : スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子1) : スケジュール設定されている間、端子1のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子2) : スケジュール設定されている間、端子2のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子3) : スケジュール設定されている間、端子3のアラーム入力を許可します。

動作検知許可 : スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

妨害検知許可 : スケジュール設定されている間、妨害検知を許可します。

音検知許可 : スケジュール設定されている間、音検知を許可します。

画像公開許可 : スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証] タブ (→ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) で設定したアクセスレベルが「2.カメラ制御」、「3.ライブ画表示」のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画 : スケジュール設定された時間になると、「録画ストリーム」で設定されたSD録画を行います。

なお、「録画圧縮方式」がストリームのときのみ有効です。【S1536L】

全アラーム検知許可 : 「DDNS」で「みえますねっと」に設定している場合、スケジュー

ル5でのみ選択できます。スケジュール設定がされている間は、すべてのアラーム入力を許可します。「月」から「日」、および「24h」が自動的に設定され、変更できません。

画質1 : Scene1 (シーンファイル1) :スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル1」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質2 : Scene2 (シーンファイル2) :スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル2」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質3 : Scene3 (シーンファイル3) :スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル3」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質4 : Scene4 (シーンファイル4) :スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル4」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

SFTP定期送信 :スケジュール設定された時間になると、SFTP定期送信を行います。

メール送信許可 :スケジュール設定されている間、アラーム発生時にメール通知を行います。

カメラの再起動 :スケジュール設定された時間になると、カメラの再起動を行います。スケジュール5でのみ選択できます。

お知らせ

- ・ 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」(→ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) を「On」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」(→ホスト認証を設定する [ホスト認証]) を「Off」に設定してください。
- ・ 「SD録画」で使用する場合は、[SDメモリーカード] タブの [録画圧縮方式] を「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」にし、[保存モード] を「スケジュール保存」に設定してください。(→ [保存モード]) 【S1536L】

8 機能拡張ソフトウェアモードOn時に録画機能を使用できるよう変更【S1536L】

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う【基本】-SDメモリーカードを設定する【SDメモリーカード】)

機能拡張ソフトウェアモードをOnに設定しても、本機機能によるSDメモリーカードへの録画機能を利用できるようになります。

【機能拡張ソフトウェアモード】

インストールした機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用する場合に本設定を「On」に設定します。

- ・ **On** : 機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができるようになります。
- ・ **Off** : 機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができません。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ 機能拡張ソフトウェアについては、以下の弊社のサポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information<管理番号 : C0103>~>~
- ・ 機能拡張ソフトウェアモードをOnからOffに設定する場合は、SDメモリーカードのフォーマットを行うことを推奨します。
- ・ SDメモリーカードを使用する機能拡張ソフトウェアを動作させる場合、SDメモリーカードへの録画機能の動作は保証できません。

9 SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更 【S1536L】

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う【基本】 - SDメモリーカードを設定する【SDメモリーカード】)

【上書き】

SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- ・ On: SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- ・ Off: SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します

初期設定 : On

10 独自アラーム通知に機能拡張ソフトウェアの試用期間満了時を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] -アラーム通知に関する設定を行う [通知] -独自アラーム通知について設定する)

機能拡張ソフトウェアの試用期間満了を独自アラームの診断通知として、通知機能を追加しました。

独自アラーム通知

・ [独自アラーム通知]

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn/Offで設定します。

- ・ アラーム発生時 (独自アラーム通知先「アラーム」欄)
- ・ SDメモリーカード残容量通知時 (独自アラーム通知先「診断」欄)【S1536L】
- ・ SDメモリーカードの空き容量不足時 (独自アラーム通知先「診断」欄)【S1536L】
- ・ SDメモリーカードの認識エラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)【S1536L】
- ・ SDメモリーカードの書き込みエラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)【S1536L】
- ・ 機能拡張ソフトウェアの試用期間満了時 (独自アラーム通知先「診断」欄)

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ 独自アラームの通知は、「通知先1」から順に通知されます (「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ)。

・ [アラーム拡張情報付加]

動作検知アラームの検出エリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : Off

・ [通知先ポート番号]

独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。

設定可能範囲 : 1~65535

初期設定 : 1818

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

・ [リトライ回数]

独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。

設定可能範囲 : 0~30

初期設定 : 2

独自アラーム通知先

・ [通知先 1] ~ [通知先 8]

独自アラーム通知先をIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は8件まで設定できます。

「**アラーム**」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

「**診断**」欄：チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラー、SDメモリーカード書き込みエラー、機能拡張ソフトウェアの試用期間満了を通知します。

「**通知先アドレス**」欄：通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の「削除」ボタンをクリックします。

・ [動作検知エリア別送信設定]

動作検知エリア別送信設定を行うかどうかをOn/Offで設定します。

[動作検知エリア別送信設定]を「On」に設定した場合、「アラームエリアNo.」が動作検知アラームで設定した「アラームエリア」の番号と合致するときのみ、アラーム通知を実施します。

動作検知アラーム以外のアラーム通知は実施しません。動作検知エリア別送信機能を使用する場合、動作検知でのアラームエリアの状態を「有効」に設定してください。

初期設定 : Off

・ [アラームエリアNo.]

設定可能範囲 : 1 ~ 4

初期設定 : 1

重要

- ・ 「通知先アドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])
- ・ 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知の遅延や送信抜けが発生することがあります。

11 NTPテスト機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] - NTPサーバーを設定する)

NTPサーバーと通信できるかを確認する為、時刻同期のテスト機能を追加しました。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) SFTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP MQTT LLDP			
NTP			
時刻調整	<input checked="" type="radio"/> マニュアルセッティング <input type="radio"/> NTPサーバーに同期		
NTPサーバーアドレス取得方法	Manual		
NTPサーバーアドレス	入力例: 192.168.0.10		
ポート番号	123 (1-65535)		
時刻更新間隔	1h		
NTPテスト	実行		

設定

[NTPテスト]

「時刻調整」を「NTPサーバーに同期」を選択し、NTPサーバー情報を設定後に「実行」ボタンをクリックしてください。NTPサーバーと通信し、時刻同期を実施し、NTP動作の確認をすることができます。

お知らせ

- ・ NTPテストに成功すると、「NTP時刻補正に成功しました。」を表示します。
- ・ NTPテストに失敗すると、「NTP時刻補正に失敗しました。」を表示します。
- ・ 「時刻調整」が「マニュアルセッティング」に設定している場合は、NTPテストの「実行」ボタンはグレー表示されます。
- ・ 「時刻調整」が、「NTPサーバーに同期」に設定されている場合で、NTPサーバーアドレスが設定されていない場合には、NTPテストの「実行」ボタンはグレーアウト表示されます。

12 HTTPSにTLS設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] - HTTPSを設定する)

HTTPSの接続方法にTLS1.1, TLS1.2, TLS1.3の選択項目を追加しました。

ネットワーク	アドバンス
SMTP(メール) SFTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP MQTT LLDP	
HTTPS	
接続方法	<input type="button" value="HTTP"/> 接続方法を「HTTPS」に設定すると、最大配信量が32Mbpsに制限されま す。 <input type="checkbox"/> TLS1.1 <input checked="" type="checkbox"/> TLS1.2 <input checked="" type="checkbox"/> TLS1.3
証明書の選択	<input type="button" value="プリインストール"/>
HTTPSポート番号	<input type="text" value="443"/> (1-65535)
プリインストール証明書	
ルート証明書取得	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書	
CRT鍵生成	<input type="button" value="実行"/>
署名リクエスト(CSR)生成	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書インストール	<input type="button" value="ファイルを選択"/> <input type="text" value="選択されていません"/> <input type="button" value="実行"/>
情報	無効 <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="button" value="設定"/>	

[HTTPS-接続方法]

本機への接続方法を設定します。

HTTP : HTTPとHTTPS接続が可能になります。

HTTPS : HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP

HTTPSを選択した場合に使用するTLSを選択します。

- ・ **TLS1.1**:有効/無効を設定します。
- ・ **TLS1.2**、**TLS1.3** : 常に有効で、無効に設定することはできません。

初期設定 : **TLS1.1**:無効、**TLS1.2**:有効、**TLS1.3**:有効

お知らせ

- ・ HTTP選択時に、HTTPS接続するには、最初にHTTPS接続設定を行ってください。その後、HTTPに設定変更した場合でも、HTTPS接続が可能となります。

13 MQTT機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス]）

MQTT（Message Queueing Telemetry Transport）を「ネットワーク」の「アドバンス」に追加しました。アラームが発生した時に、MQTTサーバーにアラームによるイベント動作を通知することができます。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) SFTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP MQTT LLDP			
MQTT設定		<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	
サーバー	アドレス	[Redacted]	
	ポート	8883 (1-65535)	
	プロトコル	MQTT over SSL	
	ユーザー名	[Redacted]	
	パスワード	[Redacted]	
ルートCA証明書	インストール	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません <input type="button" value="実行"/>	
	情報	無効 <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="削除"/>	
	サーバー証明書検証	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 <small>サーバー証明書検証が有効の場合はルートCA証明書のインストールが必要です。</small>	
通知設定		有効/無効	通知文字列
アラーム	<input type="checkbox"/> 端子 1	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal
		ペイロード	terminal alarm 1
		QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain
	<input type="checkbox"/> 端子 2	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal
		ペイロード	terminal alarm 2
		QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain
<input type="checkbox"/> 端子 3	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal	
	ペイロード	terminal alarm 3	
	QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain	
<input type="checkbox"/> 動作検知	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/VideoMof	
	ペイロード	VMD alarm	
	QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain	
<input type="checkbox"/> 音検知	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/AudioDet	
	ペイロード	audio	
	QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain	
<input type="checkbox"/> コマンドアラーム	トピック	/PRO/NetworkCamera/Alarm/Command	
	ペイロード	cmd	
	QoS	1 <input type="checkbox"/> Retain	
<input type="button" value="設定"/>			

[MQTT設定]

MQTT機能を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

Onに設定した場合、または、カメラの起動時にOnの場合、設定されたサーバーに接続します。

設定したアラームが発生した場合に、設定内容をサーバーに通知します。

初期設定 : Off

サーバー

[アドレス]

アラーム発生時に通知するMQTTサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数 : 1~128文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

初期設定 : なし (空白)

[ポート番号]

MQTTサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号 : 1~65535

初期設定 : 8883

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、

[プロトコル]

MQTTサーバーとの接続で使用するプロトコルをMQTT over SSL/MQTT over TCPから選択します。

初期設定 : MQTT over SSL

[ユーザー名]

MQTTサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 0~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

[パスワード]

MQTTサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 0~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

ルートCA証明書

[インストール]

証明機関から発行されたルートCA証明書のインストールを行います

[ファイルを選択] ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開くダイアログ」で、認証機関から発行されたルートCA証明書のファイルを選択し、[実行] ボタンをクリックするとルートCA証明書のインストールが実行されます。

ルートCA証明書のデータ形式は、PEM形式または、DER形式になります。

[情報]

ルートCA証明書の情報が表示されます。

無効：ルートCA証明書がインストールされていない

ルートCA証明書のホスト名：インストール済みの場合に表示

[確認] ボタンをクリックすると、ルートCA 証明書の詳細を確認できます。

[削除] ボタンをクリックすると、インストールしたルートCA証明書を削除します。

[サーバー証明書検証]

[プロトコル]に「MQTT over SSL」を選択し、[サーバー証明書検証]が「有効」の場合、SSL接続時に登録されているルートCA証明書を用いて、サーバー証明書の検証を行います。

初期設定：有効

お知らせ

- ・ [サーバー証明書検証] が「有効」の場合は、ルートCA証明書をインストールしてください。

通知設定

[アラーム]

MQTTサーバーに通知するアラームイベントをチェックします。

端子1～3は【S1536L】のみ対応しています。

端子1：端子1にアラーム発生した時にMQTTサーバーに通知します。

端子2：端子2にアラーム発生した時にMQTTサーバーに通知します。

端子3：端子3にアラーム発生した時にMQTTサーバーに通知します。

動作検知：動作検知が発生した時にMQTTサーバーに通知します。

音検知：音検知が発生した時にMQTTサーバーに通知します。

コマンドアラーム：コマンドアラームが入力された時にMQTTサーバーに通知します。

[トピック]

送信するMQTTトピック名を設定します。トピックは「/」で区切られた階層構造になっています。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数、半角記号

入力禁止文字：半角記号「¥」

初期設定：

端子1～3は【S1536L】のみ対応しています。

端子 1 : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal/1

端子 2 : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal/2

端子 3 : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/Terminal/3

動作検知 : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/VideoMotionDetection

音検知 : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/AudioDetection

コマンドアラーム : i-PRO/NetworkCamera/Alarm/Command

[ペイロード]

MQTTメッセージペイロードを設定します。

入力可能文字数 : 1~128文字

入力可能文字 : 半角英数、半角記号

入力禁止文字 : 半角記号「¥」

初期設定 :

端子1~3は【S1536L】のみ対応しています。

端子 1 : terminal alarm 1

端子 2 : terminal alarm 2

端子 3 : terminal alarm 3

動作検知 : VMD alarm

音検知 : audio

コマンドアラーム : cmd

[QoS]

QoSのレベルを0, 1, 2から選択します。0<1<2と通信品質が高くなります。

0 : QoS0でメッセージは最高1回配信されます。メッセージがサーバーに届くかは保証されません。

1 : QoS1でメッセージは最低1回配信されます。メッセージが送信先に届くことが保証されるが重複して届く可能性があります。

2 : QoS2でメッセージは正確に1回配信されます。メッセージが過不足なく1回のみ到着することが保証されます。

初期設定 : 1

[Retain]

最後に通知したメッセージをMQTTサーバーに保存させる場合にはチェックを入れます。

初期設定 : チェックなし

14 MQTT機能の失敗時にシステムログを追加

(取扱説明書 操作・設定編 システムログ表示について)



MQTT機能で異常が発生した場合のシステムログを追加しました。

MQTTに関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
MQTT	<MQTT>接続エラー	サーバーとの接続に失敗、証明書検証失敗、または切断された場合(ただし設定変更によるカメラからの切断は除く)
	<MQTT>通知エラー	サーバーへのPublishが失敗した場合

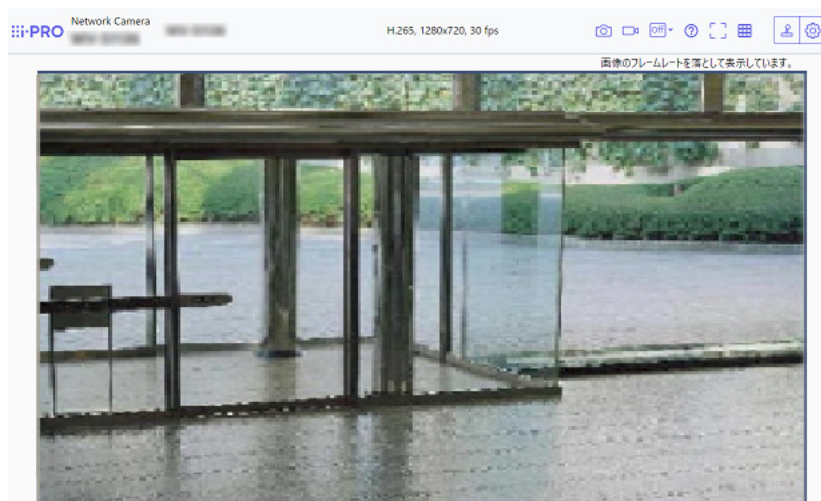
15 新しいGUI(Graphical User Interface)に変更

(取扱説明書 操作・設定編)

新しいGUIに変更しました。変更前GUIの「設定」メニューは、新GUIの「設定」ボタン  をクリックし、「詳細設定」タブの「カメラの詳細設定」ボタン  をクリックすると表示されます。

詳細は下記の弊社サポートウェブサイトを参照し、「追加情報（新GUI）」を参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information



16 AI-VMDアラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] - アラーム通知に関する設定を行う [通知] - 独自アラーム通知について設定する)

AI-VMDアラームエリア情報を独自アラーム通知画面に追加しました。

アラーム	動作検知エリア	妨害検知エリア	音検知	通知
独自アラーム通知 HTTPアラーム通知				
独自アラーム通知	<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off		
アラーム拡張情報付加	<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off		
AI-VMDアラームエリア情報	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off		
通知先ポート番号	<input type="text" value="818"/>	(1-65535)		
リトライ回数	<input type="text" value="2"/>			

・ [AI-VMDアラームエリア情報]

AI-VMDで検出したエリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : On


お知らせ

- ・ 拡張機能ソフトウェアAI-VMDをインストールしている場合に、この設定が表示されます。
- ・ アラーム設定でAI-VMDに設定されている場合に、この設定が表示されます。

17 i-PRO Remo. Service 接続機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

i-PRO Remo. Serviceの接続に関する設定画面を「ネットワーク」の「i-PRO Remo. Service」に追加しました。i-PRO Remo. Service にカメラがダイレクトに接続できるようになります。

ネットワーク	アドバンス	i-PRO Remo. Service	Stratocast
i-PRO Remo. Service			
i-PRO Remo. Service登録状況		未登録	登録状況更新
i-PRO Remo. Serviceアカウントをお持ちでない場合は、以下のURLにアクセスして、アカウントを取得してください。			
			
https://i-pro-remoservice.com/login/service-agreement			
i-PRO Remo. Service 対応カメラの詳細につきましては以下のサポートウェブサイトを参照ください。 https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information (公開情報 : C0325)			
i-PRO Remo. Service登録設定			
i-PRO Remo. Service機能		<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
i-PRO Remo. Serviceの登録メールアドレス		[Redacted]	
i-PRO Remo. Serviceのパスワード		[Redacted]	
<input type="button" value="設定"/>			

[i-PRO Remo. Service機能]

i-PRO Remo. Service 機能（カメラダイレクト接続機能）を有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

有効に設定した場合、または、カメラの起動時に有効の場合、i-PRO Remo. Service のサーバー(<https://i-pro-remoservice.com>)に接続します。

i-PRO Remo. Service へ映像の配信、SDカードに保存された映像データの再生・ダウンロード、アラーム通知を行います。

初期設定：無効

[i-PRO Remo. Serviceの登録メールアドレス]

i-PRO Remo. Service 機能の有効を選択すると、入力できるようになります。事前にi-PRO Remo. Service(<https://i-pro-remoservice.com>)にアクセスし、メールアドレスの登録とパスワードの設定が必要です。i-PRO Remo. Serviceに登録済みのメールアドレスを入力します。

初期設定：空欄

[i-PRO Remo. Serviceのパスワード]

i-PRO Remo. Service 機能の有効を選択すると、入力できるようになります。事前にi-PRO Remo. Service(<https://i-pro-remoservice.com>)にアクセスし、メールアドレスの登録とパスワードの設定が必要です。i-PRO Remo. Serviceに登録済みのパスワードを入力します。

初期設定：空欄

カメラダイレクト接続の設定手順

1. i-PRO Remo. Service 機能の有効を選択し、メールアドレスとパスワードを入力する。

ネットワーク アドバンス **i-PRO Remo. Service** Stratocast

i-PRO Remo. Service

i-PRO Remo. Service登録状況 登録済み(ライセンス割当済) **登録状況更新**

i-PRO Remo. Serviceアカウントをお持ちでない場合は、以下のURLにアクセスして、アカウントを取得してください。



<https://i-pro-remoservice.com/login/service-agreement>

i-PRO Remo. Service 対応カメラの詳細につきましては以下のサポートウェブサイトを参照ください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information (公開情報：C0325)

i-PRO Remo. Service登録設定

i-PRO Remo. Service機能	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
i-PRO Remo. Serviceの登録メールアドレス	<input type="text"/>
i-PRO Remo. Serviceのパスワード	<input type="password"/>

設定

2. 「設定」ボタンを押下

アラートメッセージを確認してOKボタンを押下する。

i-PRO Remo. Service 有効に設定すると以下の値に変更され、設定が固定になります。

項目	i-PRO Remo. Service 設定時
JPEG(1) の解像度	QVGA (320x180)
ストリーム (1)、ストリーム(2)の圧縮方式	H.265
ストリーム (4) の解像度	QVGA (320x180)
録画ストリーム	ストリーム (1)
独自アラーム通知、アラーム拡張情報付加	on

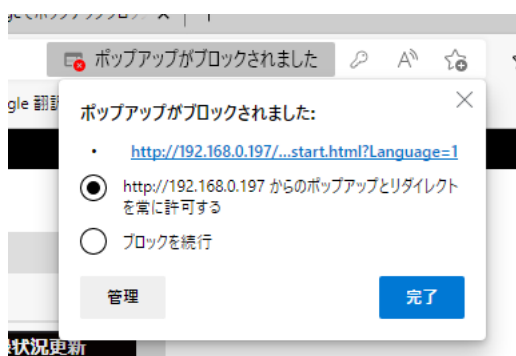
3. 登録完了

ポップアップウィンドウが表示されます。20秒程度登録に時間がかかります。登録が完了しましたら、「登録が正常終了しました。」と表示され、i-PRO Remo. Service 登録状況が「登録済み (ライセンス割当てなし)」もしくは「登録済み (ライセンス割当て済)」と表示されます。



ポップアップウィンドウが表示されない場合

ポップアップウィンドウの表示がブロックされている場合は、ポップアップがブロックされたことがアドレスバーに表示されます。ポップアップの表示を許可してください。その後、i-PRO Remo. Service機能を「無効」に設定し、再度、「有効」に設定して、メールアドレスとパスワードを入力し、設定ボタンを押してください。



登録が完了した後は、ポップアップウインドウの右肩の「x」で閉じてください。その後、「登録状況更新」ボタンを押して、i-PRO Remo. Service 登録状況が「登録済み（ライセンス割当あり）」もしくは「登録済み（ライセンス割当なし）」になることを確認してください。

メールアドレスやパスワードを誤って入力した場合の訂正方法

i-PRO Remo. Service機能を「無効」に設定し、再度、「有効」に設定して、メールアドレスとパスワードを入力し、設定ボタンを押してください。

登録に失敗する場合

- ・ カメラが接続されているネットワークが外部接続できることご確認ください。
- ・ 「ネットワーク」の設定の、デフォルトゲートウェイが正しく設定されているか確認してください。
- ・ 「ネットワーク」の設定の、DNSがManualの場合プライマリーサーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
- ・ 「ネットワーク」の設定の、HTTPポート番号が「80」であることを確認してください。
- ・ 「ネットワーク->>アドバンス」HTTPS設定の、接続方法が「HTTP」となっていることを確認してください。
- ・ 「基本」の設定の、日時が日本の標準時間と合っているか確認してください。
- ・ ご使用の機種がi-PRO Remo. Serviceに対応しているか確認してください。

お知らせ

- ・ i-PRO Remo. Service対応機種については、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0325>を参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

i-PRO Remo. Service 対応ブラウザ

Google Chrome、Microsoft Edgeを使ってアクセスしてください。Firefoxは操作できない

ことがあります。

18 映像配信ログをステータス画面に追加

〔取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う〔メンテナンス〕 - ステータスを確認する〔ステータス〕〕

映像配信ログをステータス画面に追加しました。



「確認」ボタンをクリックすると、別のウインドウに映像配信ログが表示されます。

〔SDメモリーカード〕タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定（→SDメモリーカードを設定する〔SDメモリーカード〕）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4000件の映像配信ログを保存できます。

SDメモリーカードが挿入されていない、または、「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大200件まで映像配信ログを保存できます。保存できる映像配信ログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。映像配信ログは100件ずつ表示され、カメラの電源を切ってもログは保持されます。

<< 前の100件		1/2ページ			次の100件 >>
No.	時刻	ストリーム種別	接続ユーザー	IPアドレス	イベント
1	Jun/23/2022 15:09:52	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
2	Jun/23/2022 15:09:40	JPEG(2)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
3	Jun/23/2022 15:09:29	JPEG(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
4	Jun/23/2022 15:09:28	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
5	Jun/23/2022 14:56:27	ストリーム(4)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
6	Jun/23/2022 14:56:12	ストリーム(4)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
7	Jun/23/2022 14:56:11	ストリーム(2)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
8	Jun/23/2022 14:56:06	ストリーム(2)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
9	Jun/23/2022 14:56:06	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
10	Jun/23/2022 14:55:28	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
11	Jun/23/2022 14:55:01	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
12	Jun/23/2022 14:53:55	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
13	Jun/23/2022 14:50:53	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました

閉じる

・ [<<最新の100件]

クリックすると、最新100件の映像配信ログ一覧が表示されます。

- ・ [次の100件>>]
クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の次の100件を表示されます。
- ・ [ページ数表示]
現在開いているページが「ページ/総ページ」の形式で表示されます。
- ・ [<<前の100件]
クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の前の100件を表示されます。
- ・ [No]
映像配信ログの通し番号が表示されます。
- ・ [時刻]
映像配信ログの時刻が表示されます。
- ・ [ストリーム種別]
映像配信ログのストリーム種別（ストリーム(*)、JPEG(*)、SDカード再生）を表示します。*は番号を表示します。
- ・ [接続ユーザー]
映像を配信したユーザー名を表示します。

お知らせ

- ・ 「ユーザー認証」が「Off」の場合は、「-」と表示されます。
- ・ [IPアドレス]
映像を配信したIPアドレスを表示します。
- ・ [イベント]
映像配信の開始要求、停止要求や開始エラー（アクセス集中）を表示します。

お知らせ

- ・ 以下の場合には、停止要求のログが残らないことがあります。
 - 撮像モード・ストリーム・解像度などストリームに関する設定を変更した場合
 - ライブ画より設定画面に移動した場合
 - ライブ画を閉じた場合
 - ネットワークが切断された場合

19 アラームテスト機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う【アラーム】 - アラーム動作に関する設定を行う【アラーム】)

アラームにアラームテスト機能を追加しました。

- ・ **【アラームテスト】**

[実行] ボタンをクリックすると、アラームテスト機能を実行します。

お知らせ

- ・ アラームテスト機能を実行すると、本機はコマンドアラームを検知します。アラーム検知をトリガーとしたSDメモリーカードの録画や外部機器への通知の確認に使用できます。通知先に設定した外部機器、および、本機のシステムログを用いて、関連の設定確認にご使用ください。
- ・ アラームテスト機能を、アラーム無検知時間内に複数回発生させることはできません。

20 ファイル転送機能の通信プロトコルに、FTPを追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

ファイル転送機能の通信プロトコルにFTPを追加しました。

FTP (File Transfer Protocol)、SFTP (SSH File Transfer Protocol) はファイル転送を行うプロトコルであり、サーバーに画像を送信する際に使用します。

SFTPはSSH (Secure Shell)で暗号化されたデータストリームを使って安全に画像をサーバーに送信することができます。

以下の2つの送信機能があります。

- ・ アラーム発生時に画像を送信
- ・ 定期的に画像を送信

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP/SFTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP MQTT LLDP			
送信プロトコル	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP		
アラーム設定			
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	<input type="text" value=""/>		
ファイル名	<input type="text" value=""/> <input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <small>※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。</small>		
FTP送信リトライ	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
プレアラーム	画像更新速度 <input type="text" value="1fps"/>	最大画像枚数 <input type="text" value="0枚"/>	録画時間 <input type="text" value="0s"/>
ポストアラーム	画像更新速度 <input type="text" value="1fps"/>	画像枚数 <input type="text" value="100枚"/>	録画時間 <input type="text" value="100s"/>
解像度	<input type="text" value="JPEG(2)"/> (640x360)		
定期送信設定			
定期送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	<input type="text" value=""/>		
ファイル名	<input type="text" value=""/> <input checked="" type="radio"/> ファイル名+日時 <input type="radio"/> ファイル名を固定		
送信間隔	<input type="text" value="1s"/>		
解像度	<input type="text" value="JPEG(2)"/> (640x360)		
SFTPサーバー設定			
SFTPサーバーアドレス	<input type="text" value=""/> <small>入力例: 192.168.0.10</small>		
ポート	<input type="text" value="22"/> (1-65535)		
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text" value=""/> <small>入力例: dqVcdVZ/2yS05tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0</small>		
ユーザー名	<input type="text" value=""/>		
パスワード	<input type="password" value=""/>		
FTPサーバー設定			
FTPサーバーアドレス	<input type="text" value=""/> <small>入力例: 192.168.0.10</small>		
ユーザー名	<input type="text" value=""/>		
パスワード	<input type="password" value=""/>		
コントロールポート番号	<input type="text" value="21"/> (1-65535)		
モード	<input checked="" type="radio"/> パッシブモード <input type="radio"/> アクティブモード		
<input type="button" value="設定"/>			

・ **[送信プロトコル]**

送信先サーバーとのプロトコルをFTP/SFTPから選択して設定します。

SFTP : サーバーと通信する際のプロトコルに、SFTPを使用します。

FTP : サーバーと通信する際のプロトコルに、FTPを使用します。

初期設定 : SFTP

重要

・ プロトコル設定で「FTP」を選択すると、FTPサーバーへの画像送信時にネットワーク上でFTPサーバーの認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。

アラーム設定

・ **[アラーム画像送信]**

アラームを検出したとき、サーバーへ画像を送信するかどうかをOn/Offで設定します。

On : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

Off : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信しません。

初期設定 : Off

・ **[ディレクトリー名]**

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、サーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。

入力可能文字数 : 1~256文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」

・ **[ファイル名]**

サーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。

ファイル名 : 入力したファイル名 + 日時（年月日時分秒） + 連続番号

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

[アラーム画像送信] が「On」の場合、アラームの種類を以下から選択することができます。
端子1~3 <端子入出力対応機種のみ>

- ・ **端子1** : 端子1にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **端子2** : 端子2にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **端子3** : 端子3にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

- ・ 動作検知：動作検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ 妨害検知：妨害検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ 音検知：音検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ コマンドアラーム：コマンドアラームが入力されたときに、サーバーへ画像を送信します。以下PTZ特有機能<【PTZ S】のみ>
- ・ 自動追尾：自動追尾が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

- ・ 【FTP送信リトライ】
FTP転送が失敗したときに、再送するかどうかをOn/Offで選択します。
On：転送に失敗した場合、転送に成功するまで再送を行います。
Off：転送に失敗した場合、その画像は破棄して次の画像を送信します。
初期設定：Off

お知らせ

- ・ 【送信プロトコル】がSFTPに設定されているときは、FTP送信リトライ設定は設定できません。
- ・ 【プレアラーム】
 - ・ **画像更新速度**
アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。
「撮像モード」が60fpsモード/30fpsモード/15fpsモードに設定されている場合：
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps
「撮像モード」が50fpsモード/25fpsモード/12.5fpsモードに設定されている場合：
0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps
初期設定：1fps
 - ・ **最大画像枚数**
送信する画像の枚数を以下から選択します。
0枚 / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚* / 7枚* / 8枚* / 9枚* / 10枚* / 20枚* / 30枚* / 40枚* / 50枚*
初期設定：0枚
 - ・ **録画時間**
設定した「画像更新速度」、「最大画像枚数」より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

お知らせ

- ・ 送信する画像の解像度にJPEG(1)を設定する場合、JPEG(1)の解像度が「1920×1080」より大きいときは、プレアラームは設定できません。
- ・ アラーム時の画質制御を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、ア

ラーム時の画質になります。プレアラームの録画には適用されません。

- ・ [プレアラーム]の「最大画像枚数」で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。下記の表は、プレアラームで送信可能な最大画像枚数です。

解像度	画質									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1280x960	5	6	7	8	10	10	10	20	30	40
1280x720	7	8	10	10	10	20	20	30	40	50
VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
640x360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
320x180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

- ・ **【ポストアラーム】**

- ・ **画像更新速度**

アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。

「撮像モード」が60fpsモード／30fpsモード／15fpsモードに設定されている場合：
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

「撮像モード」が50fpsモード／25fpsモード／12.5fpsモードに設定されている場合：
0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps

初期設定：1fps

- ・ **画像枚数**

送信する画像の枚数を以下から選択します。

1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／1500枚／2000枚／3000枚

初期設定：100枚

- ・ **録画時間**

設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

- ・ **【解像度】**

アラーム発生時に送信する画像の解像度を以下から選択します。

JPEG(1)／JPEG(2)

初期設定：JPEG(2)

定期送信設定

・ 【定期送信】

定期送信を行うかどうかをOn/Offで設定します。

「On」に設定した場合は、サーバーの設定を行ってください。

On：画像の定期送信を行います。

Off：画像の定期送信を行いません。

初期設定：Off

重要

- ・ 定期送信を使用する場合は、スケジュールページの 【スケジュール】 タブでFTP/SFTP定期送信のスケジュール設定が必要です。(→スケジュールの設定を行う 【スケジュール】)

・ 【ディレクトリー名】

送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、サーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。

入力可能文字数：1～256文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」

初期設定：空欄

・ 【ファイル名】

送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。

ファイル名+日時：「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」をファイル名として使用します。

ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」「:」「/」「*」「<」「>」「?」「¥」「|」

初期設定：空欄

お知らせ

- ・ 「ファイル名+日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」のあとに“s”が付加されたファイル名になります。

・ 【送信間隔】

送信間隔を以下から選択します。

1s/2s/3s/4s/5s/6s/10s/15s/20s/30s/1min/2min/3min/4min/5min/

6min/10min/15min/20min/30min/1h/1.5h/2h/3h/4h/6h/12h/24h

初期設定 : 1s

・ **【解像度】**

送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)

初期設定 : JPEG(2)

SFTPサーバー設定

お知らせ

- ・ [送信プロトコル]が「FTP」に設定されているときは、SFTPサーバー設定は設定できません。

・ **【SFTPサーバーアドレス】**

画像を送信するSFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数 : 1~128文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- ・ [SFTPサーバーアドレス]のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])
- ・ **【ポート】**
SFTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
設定可能ポート番号 : 1~65535
初期設定 : 22
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670
- ・ **【ホストキーのハッシュ】**
SFTPサーバーの公開鍵のハッシュ値を入力します。
入力可能文字数 : 43~44文字
入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「+」「/」「=」

- ・ **[ユーザー名]**
SFTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- ・ **[パスワード]**
SFTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

FTPサーバー設定

お知らせ

- ・ 「送信プロトコル」が「SFTP」に設定されているときは、FTPサーバー設定は設定できません。
- ・ [FTPサーバーアドレス]
画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1～128文字
入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- ・ [FTPサーバーアドレス]のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])
- ・ **[ユーザー名]**
FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- ・ **[パスワード]**
FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

・ **[コントロールポート番号]**

FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。

設定可能ポート番号 : 1～65535

初期設定 : 21

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、
10670

・ **[モード]**

FTPの通信モードをパッシブモード/アクティブモードから選択します。

通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、
「アクティブモード」に切り換えてください。

パッシブモード : FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。

アクティブモード : FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。

初期設定 : パッシブモード

21 かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] – イベント動作を設定する [イベント動作])

SFTP機能にFTP機能を追加したことにより、かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更しました。

インターネット イベント動作

イベント動作の設定を行います。
アラーム検出時の動作、スケジュールへの動作登録を手順に沿って設定します。

【現在の設定】

アラーム	
アラーム条件	無効
アラーム動作	無効
出力端子	無効
メール通知	無効

スケジュール	
スケジュール動作	無効

【注意事項】
・動作条件を変更すると、設定を解除する項目があります。設定完了後、設定内容を確認ください。

次へ

イベント動作では、SDスケジュール録画／FTP/SFTP定期送信／アラーム検出時のイベント動作を設定できます。各設定画面で設定が完了したら、[次へ] ボタンをクリックして進んでください。

設定の流れは、次のようになります。

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

イベント動作設定の流れ



スケジュール/アラームを設定する（イベント種別設定画面）

（取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - スケジュール/アラームを設定する（イベント種別設定画面））
 ここでは、イベント動作を行うイベントを選択します。



【動作条件】

アラーム：アラーム検知時の設定をするときを選択します。

スケジュール：「SD録画」「FTP/SFTP定期送信」をするときを選択します。


初期設定：アラーム

【SDメモリーカードフォーマット】

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

[実行] ボタンをクリックすると、「フォーマット」確認画面が表示されます。

[OK] ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

「フォーマット」完了画面が表示されたら、 ボタンを押します。

重要

- ・ フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- ・ フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。

【次へ】 ボタン

「アラーム」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。（→アラーム：端子および動作検知を設定する（アラーム設定画面））

「スケジュール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。（→スケジュール：SD録画またはFTP/SFTP定期送信を設定する（スケ

ジュール種別設定画面))

アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面）

（取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面）

ここでは、アラーム種別の[動作条件]を「SD録画」「FTP/SFTP転送」から選択します。

また、[録画圧縮方式]を各JPEG/各ストリームから選択します。

The screenshot shows a configuration interface with two tabs: 'インターネット' and 'イベント動作'. The 'イベント動作' tab is active. Below the tabs, there is a text prompt: 'アラーム検出時に行う動作を選択します。'. There are two dropdown menus: '動作条件' (Action Condition) and '録画圧縮方式' (Recording Compression Method). The '動作条件' dropdown is highlighted with a pink box and is set to 'FTP/SFTP転送'. The '録画圧縮方式' dropdown is set to 'JPEG(2)' with '(640x360)' next to it. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

[動作条件]

SD録画：アラームが発生したときに、SDメモリーカードに録画します。〈SDメモリーカード対応機種のみ〉

FTP/SFTP転送：アラームが発生したときに、JPEG画像をFTP/SFTP転送します。

お知らせ

- ・ アラーム発生時の「FTP/SFTP転送」と「FTP/SFTP定期送信」は同時に動作するよう設定することができます。
- ・ アラーム発生時の「FTP/SFTP転送」と「FTP/SFTP定期送信」を同時に動作するよう設定すると、アラーム発生時の「FTP/SFTP転送」の動作が優先されます。
- ・ アラーム発生時の「FTP/SFTP転送」で画像を送信する際に使用されるプロトコルは、FTP/SFTP転送設定で設定できます。（→③FTP/SFTP転送を設定する（FTP/SFTP転送設定画面））

[録画圧縮方式] 〈SDメモリーカード対応機種のみ〉

録画する画像の圧縮方式をJPEG(1)/JPEG(2)/ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。

[次へ] ボタン

[動作条件] で「FTP/SFTP転送」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、FTP/SFTP転送設定画面が表示されます。（→③FTP/SFTP転送を設定する（FTP/SFTP転送設定画面））

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式]で画像圧縮方式JPEG(1)／JPEG(2)のいずれかを選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、JPEG録画設定画面が表示されます。(→②SD録画 (JPEG) を設定する (JPEG録画設定画面)) <SDメモリーカード対応機種のみ>

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式]で画像圧縮方式ストリーム(1)／ストリーム(2)／ストリーム(3)／ストリーム(4)のいずれかを選択し、

[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。(→SD録画 (H.265またはH.264) を設定する (動画録画設定画面)) <SDメモリーカード対応機種のみ>

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。
- ・ 音検知アラームを設定した場合でも、SDメモリーカードへのアラーム録画は実施されません<SDメモリーカード対応機種のみ>

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。(→アラーム：端子および動作検知を設定する (アラーム設定画面))

アラーム：画像転送または録画条件の詳細を設定する

(取扱説明書 操作・設定編 **かんたん設定**を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - アラーム：録画条件の詳細を設定する)

③FTP/SFTP転送を設定する (FTP/SFTP転送設定画面)

ここでは、アラーム検知時のFTP/SFTP転送を設定します。

21 かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更

インターネット	イベント動作
アラーム検出時のFTP/SFTPサーバーへの画像転送方法を設定します。	
送信プロトコル	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP
アラーム設定	
アラーム画像送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
ディレクトリー名	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾 <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 ※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、アラーム画像送信を設定するだけで送信されます。
FTP送信リトライ	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
プレアラーム	画像更新速度: <input type="text" value="1fps"/> 最大画像枚数: <input type="text" value="0枚"/> 録画時間: 0s
ポストアラーム	画像更新速度: <input type="text" value="1fps"/> 画像枚数: <input type="text" value="100枚"/> 録画時間: 100s
解像度	<input type="text" value="JPEG(2)"/> (640x360)
SFTPサーバー設定	
SFTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ポート	<input type="text" value="22"/> (1-65535)
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text"/> 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
FTPサーバー設定	
FTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
コントロールポート番号	<input type="text" value="21"/> (1-65535)
モード	<input checked="" type="radio"/> パッシブモード <input type="radio"/> アクティブモード
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="次へ"/>	

上記画面の設定方法は、「[20. ファイル転送機能の通信プロトコルにFTPを追加](#)」を参照してください。

【次へ】ボタン

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム出力設定画面が表示されます。(→アラーム：出力端子を設定する) <端子入出力対応機種のみ>

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択しないで、[次へ] ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。(→アラーム：メール通知およびメールサーバーを設定する)

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

【戻る】ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。(→アラーム：アラーム種別を設定する (アラーム種別設定画面))

スケジュール：SD録画またはFTP/SFTP定期送信を設定する (スケジュール種別設定画面)
(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作] - スケジュール：SD録画を設定する (スケジュール種別設定画面))

ここでは、スケジュール種別を「SD録画」または「FTP/SFTP定期送信」から選択します。

動作条件	SD録画
録画圧縮方式	ストリーム(1) (H.265/1920x1080)

戻る 次へ

【動作条件】

SD録画：スケジュール設定した時間に、H.265 (またはH.264) 画像をSDメモリーカードに録画します。<SDメモリーカード対応機種のみ>

FTP/SFTP定期送信：スケジュール設定した時間に、JPEG画像をFTP/SFTPサーバーへ送信します。

【録画圧縮方式】

[動作条件] で「SD録画」を選択した場合に、録画するストリームを、ストリーム(1)/

ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。<SDメモリーカード対応機種のみ>

[次へ] ボタン

「SD録画」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。(→スケジュール：SD録画を設定する(動画録画設定画面) <SDメモリーカード対応機種のみ>)

「FTP/SFTP定期送信」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、FTP/SFTP定期送信設定画面が表示されます。(→スケジュール：FTP/SFTP定期送信を設定する(FTP/SFTP定期送信設定画面))

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。(→スケジュール/アラームを設定する(イベント種別設定画面))

お知らせ

- ・ 「FTP/SFTP定期送信」と、アラーム発生時の「FTP/SFTP転送」は同時に動作するように設定することができます。
- ・ 「SD録画」を選択すると、「FTP/SFTP定期送信」の設定は解除されます。<SDメモリーカード対応機種のみ>

スケジュール：FTP/SFTP定期送信を設定する(FTP/SFTP定期送信設定画面)

(取扱説明書 操作・設定編 かんたん設定を使用する [かんたん設定] - イベント動作を設定する [イベント動作])

ここでは、FTP/SFTP定期送信を設定します。

- ・ FTP/SFTP定期送信に関する設定を行う場合：

21 かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更

FTP/SFTPサーバーへのJPEG画像転送方法と、FTP/SFTPサーバーの情報を設定します。

送信プロトコル	<input type="radio"/> FTP <input checked="" type="radio"/> SFTP
定期送信設定	
定期送信	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
ディレクトリー名	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> ファイル名+日時 <input type="radio"/> ファイル名を固定
送信間隔	1s <input type="text"/>
解像度	JPEG(2) <input type="text"/> (640x360)
SFTPサーバー設定	
SFTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ポート	22 <input type="text"/> (1-65535)
ホストキーのハッシュ	SHA256: <input type="text"/> 入力例: dqVcdVZ/2ySO5tz/R6YR+rpbW6dnap6P743uiMV0cf0
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
FTPサーバー設定	
FTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
コントロールポート番号	21 <input type="text"/> (1-65535)
モード	<input checked="" type="radio"/> パッシブモード <input type="radio"/> アクティブモード

上記画面の設定方法は、[「20. ファイル転送機能の通信プロトコルにFTPを追加」](#)を参照してください。

【設定】ボタン

【定期送信】が「Off」の場合に表示されます。【設定】をクリックすると、設定を保存します。

【次へ】ボタン

[定期送信]が「On」の場合に表示されます。[次へ] ボタンをクリックすると、FTP/SFTP定期送信スケジュールを設定する画面が表示されます。（→FTP/SFTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合）

お知らせ

- ・ [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

【戻る】ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。
（→スケジュール：SD録画またはFTP/SFTP定期送信を設定する（スケジュール種別設定画面））

- ・ FTP/SFTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合：

21 かんたん設定「イベント動作」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更

インターネット
イベント動作

FTP/SFTPサーバーへの画像転送スケジュールを設定します。
 登録するスケジュール（1～8）の「動作モード」を「FTP/SFTP定期送信」に設定し、画像転送するスケジュールを設定します。
 「動作モード」に「FTP/SFTP定期送信」が選択されていない場合は、画像転送を行いません。

スケジュール	
スケジュール 1 (白)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 2 (青)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 3 (緑)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 4 (赤)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 5 (黒)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 6 (黄)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 7 (水)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 8 (紫)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>

0:00
6:00
12:00
18:00
24:00

月	
火	
水	
木	
金	
土	
日	

各スケジュールの色は、「動作検知エリア」のエリア色と一致していません。
 「動作検知許可」を設定した場合は、「動作検知エリア」で設定したすべてのエリアで動作検知が動作します。
 「動作検知許可」「妨害検知許可」「自動送画像動作許可」は検知または認識させたい範囲を指定する際にも使えます。常時検知または常時妨害検知させる場合は設定不要です。
 「自動送画像動作許可」で検知した範囲外も、ライブ画ページの「自動モード（自動送画）」「右クリックによる自動送画」は動作します。
 プリセットポジション、オートパン、プリセットシーケンス、パトロール設定時、他の操作によりカメラの向きが変わった場合、自動的に1分後に元のプリセットポジション、動作に戻ります。

戻る
設定

上記画面の設定方法は、スケジュールの設定を行う [スケジュール] を参照してください。

【設定】 ボタン

【設定】 ボタンをクリックすると、設定を完了します。

【戻る】 ボタン

【戻る】 ボタンをクリックすると、FTP/SFTP定期送信設定画面が表示されます。(→スケジュール : FTP/SFTP定期送信を設定する (FTP/SFTP定期送信設定画面))

お知らせ

- ・ 「動作モード」で「FTP/SFTP定期送信」を未選択の場合は、FTP/SFTP定期送信を行いません。

22 SDメモリーカード「保存モード」の「SFTP定期送信エラー時」を「FTP/SFTP定期送信エラー時」に変更<SDメモリーカード対応機種のみ>

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う【基本】-SDメモリーカードを設定する【SDメモリーカード】)

SFTP機能にFTPの機能を追加したことにより、録画ストリーム「保存モード」の「SFTP定期送信エラー時」を「FTP/SFTP定期送信エラー時」に変更しました。

録画ストリーム

- ・ **【保存モード】** SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。
- ・ **FTP/SFTP定期送信エラー時:** FTP/SFTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。「JPEG(1)」、「JPEG(2)」のみ有効。
- ・ **アラーム発生時:** アラームが発生したときに画像を保存します。
- ・ **手動保存:** 画像を手動で保存します。
- ・ **スケジュール保存:** スケジュール設定 (→スケジュールの設定を行う【スケジュール】) に従って、画像を保存します。「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」のみ有効。

初期設定：手動保存

【保存モード】で「アラーム発生時」を選択した場合、アラームの種類を以下から選択することができます。

端子1~3 <端子入出力対応機種のみ>

- ・ **端子1:** 端子1にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **端子2:** 端子2にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **端子3:** 端子3にアラームが発生したときに、画像を保存します。
- ・ **動作検知:** 動作検知が発生したときに、画像を保存します。
- ・ **妨害検知:** 妨害検知が発生したときに、画像を保存します。
- ・ **コマンドアラーム:** コマンドアラームが入力されたときに、画像を保存します。

以下PTZ特有機能 <【PTZ S】のみ>

- ・ **自動追尾:** 自動追尾が発生したときに、画像を保存します。

お知らせ

- ・ 録画圧縮方式が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、「FTP/SFTP定期送信エラー時」は設定できません。
- ・ アラームを発生させるには、[アラーム] タブでアラームを設定してください。
- ・ 録画圧縮方式が「JPEG(1)」、「JPEG(2)」の場合、「スケジュール保存」は設定できません。
- ・ 弊社製ネットワークディスクレコーダーと接続した場合、[保存モード] が「通信異常検出時」でグレーアウト表示になる場合があります。
レコーダーとの接続を外した後に [保存モード] の設定を変更するには、一度 [SDメモリーカード] を「使用しない」に設定し、再度「使用する」に設定してください。
- ・ [GOP制御]に「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」を設定したストリームは、アラーム録画に設定できません。
- ・ 音検知のアラーム発生時には、映像録画されません。

23 アラーム連動動作「SFTP設定へ」のリンクを「FTP/SFTP設定へ」に変更

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う【アラーム】 - アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】)

アラームページの【アラーム】タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：「表示のしかた」、「操作のしかた」)

ここでは、アラームに連動して動作する機能について設定します。

アラーム連動動作	
アラーム時のメール送信	メール設定へ
アラーム時の画像送信(FTP/SFTP送信)	FTP/SFTP設定へ
アラーム時の画像保存(SDメモリーカード)	SDメモリーカード設定へ
独自アラーム通知	独自アラーム通知設定へ
HTTPアラーム通知	HTTPアラーム通知設定へ
アラーム時のSNMP送信	SNMP設定へ

アラーム連動動作

- ・ **【アラーム時のメール送信】**
「メール設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のメールに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のメール送信に関する設定を行う)
- ・ **【アラーム時の画像送信 (FTP/SFTP送信)】**
「FTP/SFTP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のFTP/SFTP送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のFTP/SFTP送信に関する設定を行う)
- ・ **【アラーム時の画像保存 (SDメモリーカード)】 <SDメモリーカード対応機種のみ>**
「SDメモリーカード設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定を行う <SDメモリーカード対応機種のみ>)
- ・ **【独自アラーム通知】**
「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時の独自アラーム通知送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→アラーム発生時の独自アラーム通知に関する設定を行う)
- ・ **【HTTPアラーム通知】**

「HTTPアラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のHTTPアラーム通知送信に関する設定画面が別ウィンドウで表示されます。(→アラーム発生時のHTTPアラーム通知に関する設定を行う)

・ **【アラーム時のSNMP送信】**

「SNMP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSNMP送信に関する設定画面が別ウィンドウで表示されます。(→アラーム発生時のSNMP送信に関する設定を行う)

アラーム発生時のFTP/SFTP送信に関する設定を行う

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う【アラーム】 - アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】)

アラームページの【アラーム】タブで、【アラーム連動動作】の「FTP/SFTP設定へ」をクリックします。(→アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】) 設定方法については、この説明書の「20. ファイル転送機能の通信プロトコルにFTPを追加」を参照してください。

24 ネットワーク「IPv6/v4共通」設定に「カメラへのFTPアクセス」を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定を行う [ネットワーク] - ネットワークを設定する [ネットワーク])

FTP機能の追加により、ネットワーク「IPv6/v4共通」設定に「カメラへのFTPアクセス」を追加しました。

IPv6/v4共通	
HTTPポート番号	80 (1-65535)
通信速度	Auto ▼
RTPパケット 最大送信サイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし(1500byte) <input type="radio"/> 制限あり(1280byte)
HTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte) ▼
配信量制御 (ビットレート)	51200kbps ▼
IP簡単設定有効期間	<input checked="" type="radio"/> 20分間 <input type="radio"/> 無制限
カメラへのFTPアクセス	<input type="radio"/> 許可 <input checked="" type="radio"/> 禁止
ONVIF® ※ONVIFは、ONVIF,Inc.の商標です。	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

[カメラへのFTPアクセス]

カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可/禁止で選択します。

許可 : カメラへのFTPアクセスを許可します。

禁止 : カメラへのFTPアクセスを禁止します。

初期設定 : 禁止

重要

- ・ FTPアクセスを許可すると、PC から本機へのアクセス時に認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。

25 スケジュール「動作モード」の「SFTP定期送信」を「FTP/SFTP定期送信」に変更

(取扱説明書 操作・設定編 スケジュールの設定を行う [スケジュール])

SFTP機能のFTP/SFTP機能への変更により、スケジュール設定[動作モード]の[SFTP定期送信]を[FTP/SFTP定期送信]に変更しました。

・ [動作モード]

スケジュールの動作を選択します。

初期設定時は「Off」に設定されています。

Off : スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可 <端子入出力対応機種のみ>

アラーム入力許可 (端子1,2,3) : スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子1) : スケジュール設定されている間、端子1のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子2) : スケジュール設定されている間、端子2のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子3) : スケジュール設定されている間、端子3のアラーム入力を許可します。

動作検知許可 : スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

妨害検知許可 : スケジュール設定されている間、妨害検知を許可します。

音検知許可 : スケジュール設定されている間、音検知を許可します。

画像公開許可 : スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証] タブ (→ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) で設定したアクセスレベルが「2.カメラ制御」、「3.ライブ画表示」のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画 : スケジュール設定された時間になると、「録画ストリーム」で設定されたSD録画を行います。なお、「録画圧縮方式」がストリームのときのみ有効です。 <SDメモリーカード対応機種のみ>

全アラーム検知許可 : 「DDNS」で「みえますねっと」に設定している場合、スケジュール5またはスケジュール8でのみ選択できます。スケジュール設定がされている間は、すべてのアラーム入力を許可します。「月」から「日」、および「24h」が自動的に設定され、変更できません。

画質1 : Scene1 (シーンファイル1) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル1」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、

「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質2 : Scene2 (シーンファイル2) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル2」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質3 : Scene3 (シーンファイル3) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル3」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質4 : Scene4 (シーンファイル4) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル4」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

FTP/SFTP定期送信 : スケジュール設定された時間になると、FTP/SFTP定期送信を行います。

メール送信許可 : スケジュール設定されている間、アラーム発生時にメール通知を行います。

カメラの再起動 : スケジュール設定された時間になると、カメラの再起動を行います。スケジュール5またはスケジュール8でのみ選択できます。

以下PTZ特有機能<【PTZ S】のみ>

ポジションリフレッシュ : スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。

1~256 : スケジュール設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。

自動追尾起動許可 : スケジュール設定されている間、[自動追尾設定] タブで設定した自動追尾起動設定を許可します。

オートパン : スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したオートパンの動作を開始します。

パトロール1 : スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したパトロール1の動作を開始します。なお、「パトロール1」が設定されているときのみ有効です。

パトロール2 : スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したパトロール2の動作を開始します。なお、「パトロール2」が設定されているときのみ有効です。

パトロール3 : スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したパトロール3の動作を開始します。なお、「パトロール3」が設定されているときのみ有効です。

パトロール4 : スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したパトロール4の動作を開始します。なお、「パトロール4」が設定されているときの

み有効です。

プリセットシーケンス1：スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したプリセットシーケンス1の動作を開始します。なお、「プリセットシーケンス1」が設定されているときのみ有効です。

プリセットシーケンス2：スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したプリセットシーケンス2の動作を開始します。なお、「プリセットシーケンス2」が設定されているときのみ有効です。

プリセットシーケンス3：スケジュール設定された時間になると、[ポジション] タブで設定したプリセットシーケンス3の動作を開始します。なお、「プリセットシーケンス3」が設定されているときのみ有効です。

お知らせ

- ・ 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」(→ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) を「On」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」(→ホスト認証を設定する [ホスト認証]) を「Off」に設定してください。
- ・ 「SD録画」で使用する場合は、[SDメモリーカード] タブの [録画圧縮方式] を「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」にし、[保存モード] を「スケジュール保存」に設定してください。(→ [保存モード]) <SDメモリーカード対応機種のみ>

26 システムログにFTP/SFTPに関するログを追加

(取扱説明書 操作・設定編 その他－システムログ表示について)

システムログにFTPとSFTPに関するエラー表示を追加しました。

FTP/SFTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
サーバーエラー	サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"> サーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	DNSからFTPサーバー アドレス解決できず	
接続エラー	ユーザー名パスワードエラー	<ul style="list-style-type: none"> サーバーの設定が間違っている可能性があります。設定を再確認してください。 各表示内容の設定が間違っている可能性があります。設定を再確認してください。
	ディレクトリー変更に失敗	
	ホストキー照合エラー	
	アクセス権限がありません	
	画像送信に失敗	
	転送エラー	
	Passiveモードでのエラー	
ログアウト失敗		
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> FTP/SFTP機能で問題が発生しています。<u>FTP/SFTP設定を再確認してください。</u>

27 機能拡張ソフトウェア機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 設定)

詳細設定メニューに [機能拡張ソフトウェア] メニューを追加しました。

The screenshot shows a web interface for software management. At the top, there are three tabs: 'ソフトウェア管理' (Software Management), '動作スケジュール' (Action Schedule), and '管理ログ' (Management Log). The 'ソフトウェア管理' tab is active. Below the tabs is a table titled 'カメラ固有データ' (Camera-specific Data) with the following rows:

機器ID番号	XXXXXXXXXXXX
残ROM容量	512000 kbytes
残RAM容量	207424 kbytes
SDKバージョン	1.0.0
ソフトウェアバージョン	1.0.0
RAM容量拡張モード	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off

Below the table is a '設定' (Settings) button. Underneath, there are several lines of text providing instructions and links:

- ・RAM容量拡張モードをOnに設定すると、SDメモリーカードへの録画機能は使用できなくなります。
- ・残RAM容量が51200 kbytes以下の場合にはOffにできません。
- ・RAM容量拡張モードをOnに設定する必要がある機能拡張ソフトウェアは下記URLを参照してください。

日本でご使用の場合
<https://cwc.i-pro.com/pages/application-platform-list>
日本以外でご使用の場合
<https://i-pro.com/global/en/surveillance/i-pro-application-platform/application-list>

Below this is a file selection area with a 'ファイルを選択' button and the text '選択されていません'. Underneath, there is a radio button for '新しい拡張ソフトウェアをインストールする.' and an '実行' (Execute) button. Below that, there is a message: '拡張ソフトウェアは最新版をご使用ください。' and a final instruction: 'インストール中はブラウザを操作しないでください。'

[機能拡張ソフトウェア]

機能拡張ソフトウェアの管理や、スケジュール設定ができます。また、機能拡張ソフトウェアをインストールした場合は、その画面へのリンクを表示します。(→機能拡張ソフトウェアの管理、スケジュール設定を行う [機能拡張ソフトウェア])

27.1 機能拡張ソフトウェアの管理、スケジュール設定を行う [機能拡張ソフトウェア]

機能拡張ソフトウェアページでは、機能拡張ソフトウェアの管理、動作スケジュール設定を行います。

機能拡張ソフトウェアページでは、[ソフトウェア管理] タブ、[動作スケジュール] タブ、

[管理ログ] タブで構成されます。

27.2 機能拡張ソフトウェアのインストール、アンインストール、バージョンアップを行う [ソフトウェア管理]

機能拡張ソフトウェアページの [ソフトウェア管理] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた: 「表示のしかた」、「操作のしかた」)

機能拡張ソフトウェアをインストールする

1 インストールする機能拡張ソフトウェアをPCに保存します。

重要

- ・ カメラの「残ROM容量」「残RAM容量」を確認してください。機能拡張ソフトウェアのインストールに必要な容量が不足している場合は、インストール済みの別の機能拡張ソフトウェアをアンインストールしてください。アンインストールについては「[アンインストール] ボタン」をお読みください。
- 2 [ファイルを選択] ボタンをクリックして「機能拡張ソフトウェア」を指定します。
- 3 「新しい拡張ソフトウェアをインストールする。」が選択されていることを確認し、[実行] ボタンをクリックします。「機能拡張ソフトウェア」のインストールが行われます。インストールが完了すると、「ソフトウェア管理」画面にインストールした機能拡張ソフトウェアの名称が追加されます。

重要

- ・ 保存先のディレクトリ名に、スペース、全角文字は使用しないでください。
 - ・ 機能拡張ソフトウェアは、指定のファイル (extファイル) を使用してください。
 - ・ インストール中は、カメラの電源を切らないでください。
 - ・ インストール中は、インストールが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- 4 解除キー番号を取得し、解除キー登録を行います。

お知らせ

- ・ 機能拡張ソフトウェアの種類によっては、解除キー登録が必要な場合があります。解除キーの取得、および登録方法については、機能拡張ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

- ・ 解除キーの登録後、本機は再起動します。本機が再起動した後、解除キーが登録されていることを確認の上、機能拡張ソフトウェアの設定をしてください。

ソフトウェア管理画面について

The screenshot shows the 'ソフトウェア管理' (Software Management) screen. At the top, there are tabs for 'ソフトウェア管理', '動作スケジュール', and '管理ログ'. Below the tabs is a table titled 'カメラ固有データ' (Camera-specific data) with the following rows:

機器ID番号	XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX
残ROM容量	151200 kbytes
残RAM容量	204800 kbytes
SDKバージョン	1.00
ソフトウェアバージョン	1.00
RAM容量拡張モード	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off

Below the table is a '設定' (Settings) button. Underneath, there are several lines of text and links:

- ・ RAM容量拡張モードをOnに設定すると、SDメモリーカードへの録画機能は使用できなくなります。
- ・ 残RAM容量が51200 kbytes以下の場合はOffにできません。
- ・ RAM容量拡張モードをOnに設定する必要がある機能拡張ソフトウェアは下記URLを参照してください。

日本でご利用の場合
<https://cwc-l-pro.com/pages/application-platform-list>
 日本以外でご利用の場合
<https://l-pro.com/global/en/surveillance/l-pro-application-platform/application-list>

Below this is a file selection area with a 'ファイルを選択' button and the text '選択されていません'. There are two radio buttons: '新しい拡張ソフトウェアをインストールする。' (selected) and '実行'. An '実行' button is next to the second option. Below that is the text '拡張ソフトウェアは最新版をご使用ください。' and 'インストール中はブラウザを操作しないでください。'

機能拡張ソフトウェアがインストールされると、カメラ固有データや機能拡張ソフトウェアの登録状況などが表示されます。またこの画面で以下の操作が行えます。

- ・ 機能拡張ソフトウェアのアンインストール
- ・ 登録状況の詳細画面の表示
- ・ 機能拡張ソフトウェアの設定画面の表示
- ・ 機能拡張ソフトウェアのアップデート

お知らせ

- ・ 1つのみ機能拡張ソフトウェアをインストールできます。

カメラ固有データ

【機器ID番号】

機能拡張ソフトウェアをインストールするために必要なIDです。各カメラ固有の機器IDをもっています。

【残ROM容量】

カメラに残っている機能拡張ソフトウェア用のROM容量を表示します。インストールする機能拡張ソフトウェアが、ここに表示されているROM容量以上を必要とする場合は、

インストールできません。

【残RAM容量】

カメラに残っている機能拡張ソフトウェア用のRAM容量を表示します。インストールする機能拡張ソフトウェアが、ここに表示されているRAM容量以上を必要とする場合は、インストールできません。

【SDKバージョン】

カメラに組み込まれているSDKのバージョン情報を表示します。インストールする機能拡張ソフトウェアがここに表示されているバージョン番号以上を必要とする場合、機能拡張ソフトウェアは正常に動作しないことがあります。

【ソフトウェアバージョン】

カメラのソフトウェアのバージョン情報を表示します。

【RAM容量拡張モード】

RAM容量拡張を行うかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ [RAM容量拡張モード] を「On」に設定すると、本機能によるSDメモリーカードへの録画機能は使用できなくなります。
- ・ [残RAM容量] にマイナスの値が表示されている場合は、機能拡張ソフトウェアをアンインストールするか、[RAM容量拡張モード] を「On」に設定してください。
- ・ [設定] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

機能拡張ソフトウェア

【アンインストール】 ボタン

インストールした機能拡張ソフトウェアをアンインストールできます。

【バージョン】

機能拡張ソフトウェアをインストールしている場合、インストールしている機能拡張ソフトウェアのバージョン情報と機能拡張ソフトウェアに組み込まれているSDKのバージョン情報が表示されます。

カメラに組み込まれているSDKのバージョン情報が、機能拡張ソフトウェアが必要とするバージョン番号未満の場合、機能拡張ソフトウェアは正常に動作しないことがあります。

お知らせ

- ・ SDKのバージョン情報が組み込まれていない機能拡張ソフトウェアの場合は、SDKのバージョン情報は表示されません。

【登録状況】

機能拡張ソフトウェアのインストール状況を表示します。「運用可能」が表示されている場合、インストールしている機能拡張ソフトウェアが動作可能な状態であることを表しています。

【設定画面へ】 ボタン

機能拡張ソフトウェアが、設定画面など独自の画面を持っている場合にその画面を表示させることができます。

【新しい拡張ソフトウェアをインストールする】

新しい機能拡張ソフトウェアをインストールする場合に選択し、インストールする機能拡張ソフトウェアを選択します。

【バージョンアップする】

すでにインストールされている機能拡張ソフトウェアを選択し、[実行] ボタンをクリックすると、機能拡張ソフトウェアをバージョンアップできます。

27.3 機能拡張ソフトウェアのスケジュールを設定する [動作スケジュール]

機能拡張ソフトウェアページの [動作スケジュール] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：「表示のしかた」、「操作のしかた」)

ソフトウェア管理
動作スケジュール
管理ログ

▼

動作する曜日

曜日	月	火	水	木	金	土	日
タイムテーブル1	○	○	○	○	○	○	○
タイムテーブル2	○	○	○	○	○	○	○
Off	○	○	○	○	○	○	○

[タイムテーブル1]

		0:00	6:00	12:00	18:00	24:00	動作内容
1	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
2	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
3	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
4	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
5	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
6	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼

[タイムテーブル2]

		0:00	6:00	12:00	18:00	24:00	動作内容
1	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
2	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
3	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
4	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
5	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼
6	00 ▼ : 00 ▼ ~ 00 ▼ : 00 ▼						Off ▼

設定

動作スケジュールを設定する機能拡張ソフトウェアを選択します。

【動作する曜日】

曜日ごとに [タイムテーブル1] [タイムテーブル2] [Off] を選択します。

【タイムテーブル1】【タイムテーブル2】

時間を指定するとき [▼] をクリックして時間を設定します。[00:00] ~ [00:00] の場合は24時間設定になります。「動作内容」でOn/Offを設定することができます。

スケジュールの設定のしかた

1 機能拡張ソフトウェアの一覧から、動作スケジュールを設定するソフトウェアを選択し

ます。

- 2 [動作する曜日] で、スケジュールを設定する曜日とタイムテーブルを選択します。
- 3 [タイムテーブル1] [タイムテーブル2] で、動作させる時間帯を指定します。
24時間動作させる場合は、[00:00] ~ [00:00] を指定します。
- 4 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。

27.4 機能拡張ソフトウェアの「管理ログ」を確認する [管理ログ]

機能拡張ソフトウェアに関する管理ログを表示します。(→設定メニューの表示・操作のしかた：「表示のしかた」、「操作のしかた」)

本機の内部メモリーに最大200件まで管理ログを保存できます。

保存できる管理ログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

管理ログは100件ずつ表示され、カメラの電源を切っても保存されます。

ソフトウェア管理			動作スケジュール			管理ログ		
<< 前の100件			1/2ページ			次の100件 >>		
No	発生日時	内容						

[次の100件>>]

クリックすると、表示している管理ログ一覧の次の100件が表示されます。

[ページ数表示]

現在開いているページが「ページ/総ページ」の形式で表示されます。

[<<前の100件]

クリックすると、表示している管理ログ一覧の前の100件が表示されます。

[No]

管理ログの通し番号が表示されます。

[発生日時]

ログの発生日時が表示されます。

[内容]

管理ログの内容が表示されます。

28 機能拡張ソフトウェアモードを追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] -SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード])

SDメモリーカード設定に「機能拡張ソフトウェアモード」を追加しました。

基本		SDメモリーカード	オーバーレイ画像
運用モード			
SDメモリーカード	<input checked="" type="radio"/>	使用する	<input type="radio"/> 使用しない
機能拡張ソフトウェアモード	<input type="radio"/>	On	<input checked="" type="radio"/> Off
録音	<input type="radio"/>	On	<input checked="" type="radio"/> Off
SDメモリーカード残容量通知		50%	
上書き	<input checked="" type="radio"/>	On	<input type="radio"/> Off
SDメモリーカードセキュリティ設定			
改ざん検出情報付加		詳細設定へ>>	
パスワードロック	パスワード	設定	解除 変更
	状態	未設定	

【機能拡張ソフトウェアモード】

インストールした機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用する場合に本設定を「On」に設定します。

On：機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができるようになります。

Off：機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができません。

初期設定：Off

お知らせ

- 機能拡張ソフトウェアモードをOnからOffに設定する場合は、SDメモリーカードのフォーマットを行うことを推奨します。
- SDメモリーカードを使用する機能拡張ソフトウェアを動作させる場合、SDメモリーカードへの録画機能の動作は保証できません。

29 Stratocast Service接続機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークを設定する [ネットワーク])

Genetec Stratocast Serviceの接続に関する設定画面「Stratocast」を「ネットワーク」メニューに追加しました。

ネットワーク	アドバンス	i-PRO Remo. Service	Stratocast
Stratocast		<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効
設定			
		トラブルシューティングはこちら (英語サイトのみ)	
1 - Activation コードの取得			
MAC: D42DC515466E		<input type="button" value="コピー"/>	
2 - 取得した Activation コードの入力			
<input type="text"/>		<input type="button" value="Activate"/>	
接続状態			
ソフトウェアバージョン		2.50	

Stratocastは、Genetecが提供するクラウドベースのビデオ監視サービスです。ネットワークカメラをクラウドサーバーに登録し、カメラ映像を確認できます。

[Stratocast]

Stratocast接続機能の有効/無効を設定します。

有効：Stratocast接続機能を有効にします。

無効：Stratocast接続機能を無効にします。

初期設定：無効

お知らせ

- ・ Stratocastを有効に設定すると、[ストリーム(1)]の[圧縮方式]が「H.264」に設定されます。
- ・ [撮像モード]が「4:3モード(12.5fpsモード)」または「4:3モード(15fpsモード)」の場合、Stratocastでライブ映像は表示できません。

[トラブルシューティングはこちら (英語サイトのみ)]

GenetecのStratocastヘルプページを表示します（英語サイトのみ）。

【Activation コードの取得】

本項目をクリックするとブラウザが起動し、Stratocastのポータルサイトが表示されます。ポータルサイトにて登録情報を入力すると、アクティベーションコードが表示されます。

【取得した Activation コードの入力】

Stratocastのポータルサイトから取得したアクティベーションコードを入力します。

【接続状態】

カメラとStratocastの接続状態を表示します。

Activation Started : Stratocastへの接続を開始

Time Synchronization failed : Stratocast の NTP サーバーへの接続に失敗

Registration failed : カメラ登録に失敗

Device unregistered : カメラの登録解除

Device Registered : カメラの機器登録完了

Balancer failed : Device Load Balancerへの接続に失敗

Device Failed to Connect : Stratocastへの接続に失敗

Device Connected : Stratocastに接続中

Device Disconnected : カメラとStratocast間の接続が切断

【ソフトウェアバージョン】

カメラにインストールされているソフトウェアバージョンが表示されます。

Genetec Stratocastサービスにカメラを登録するには、次の手順に従ってください。

1 Stratocast接続機能を有効にします。

- ・ [Stratocast]で「有効」を選択し、「設定」をクリックしてください。

重要

- ・ 上記の「設定」ボタンを押下後も、Stratocastへカメラ登録が完了するまでカメラのブラウザ画面を閉じないでください。

2 Stratocastにログインします。

- ・ 「1 – Activation コードの取得」をクリックし、Stratocastのポータルサイトをブラウザで開きます。
- ・ 登録済みのGenetecアカウントを使用してログインしてください。

3 Stratocastのポータルサイトの指示に従って、情報を入力しアクティベーションコードを取得します。

- ・ Stratocastのポータルサイト画面の指示に従って情報を入力してください。
- ・ 登録画面でカメラのMACアドレスが入力されていることを確認してください。
カメラのMACアドレスを入力していない場合は、カメラのブラウザに表示されているMACアドレスを入力してください。
([コピー] ボタンをクリックすると、カメラのMAC アドレスをクリップボードにコピーできます。)
- ・ 登録が完了すると、アクティベーションコードが表示されます。

4 アクティベーションコードをカメラのブラウザ画面に入力して、Stratocastサービスを開始します。

- ・ カメラのブラウザ画面に、取得したアクティベーションコードを入力して [Activate] ボタンをクリックしてください。
- ・ Stratocastポータル画面に戻り、Stratocast接続処理の完了まで待機してください。(約5分)
- ・ Stratocastポータル画面の指示に従ってサービスを開始してください。

お知らせ

- ・ Stratocastポータルサイトからもカメラ登録を開始できます。
この場合、[コピー] ボタンを使用してカメラのMACアドレスをポータルサイトに入力してください。
- ・ Stratocastの登録については、カメラ画面の [トラブルシューティングはこちら (英語サイトのみ)] をクリックして、Stratocastのヘルプサイトを参照してください。
- ・ 映像の遅延や接続エラーが発生する場合は、次の方法で接続を確認してください。
 - ネットワークの帯域が十分か確認してください。ネットワークの帯域は1Gbps以上、固定回線での接続を推奨しています。
 - カメラのLANケーブルが抜けていないことを確認してください。その上でカメラの電源を切り、再度電源を投入後、しばらく時間をおいてからカメラをネットワークに接続してください。
- ・ Stratocast に関する技術的なお問い合わせは、販売代理店にご連絡ください。

Genetec™、Stratocast™、 Stratocast™ はGenetec Inc.の商標です。

30 無線通信ユニットに関する設定機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークを設定する [ネットワーク])

設定画面[無線通信ユニット]を[ネットワーク]メニューに追加しました。

ここでは、無線通信ユニット (WV-PW510) に関する設定を行います。

ネットワーク	アドバンス	無線通信ユニット
ログイン設定		
ユーザー名	<input type="text"/>	
パスワード	<input type="password"/>	
設 定		

【ユーザー名】

無線通信ユニットの管理者のユーザー名を設定します。

入力可能文字数：1～64文字（半角英数字、半角記号）

入力不可文字：半角記号「"」 「;」 「=」 「#」 「&」 「'」 「(」 「)」 「*」 「<」 「>」 「^」 「|」 「:」 「¥」

【パスワード】

無線通信ユニットの管理者のパスワードを設定します。

入力可能文字数：8～64文字(半角英数字、半角記号)

入力不可文字：半角記号「"」 「;」 「=」 「#」 「&」 「'」 「(」 「)」 「*」 「<」 「>」 「^」 「|」 「:」 「¥」

お知らせ

- ・ ユーザー名/パスワードを設定すると、無線通信ユニットのLED表示機能などを使用することができます。
- ・ 無線通信ユニットのLED表示機能などについての詳細は、無線通信ユニット (WV-PW510) の取扱説明書を参照してください。

31 HTML初期化機能を追加

〔取扱説明書 操作・設定編 本機を初期化・再起動する [初期化]〕

[HTML初期化]と[設定データ/HTML初期化]を[メンテナンス]メニューの[初期化]タブに追加しました。

ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

システムログ	バージョンアップ	ステータス	初期化	データ
設定データ初期化 (ネットワーク設定を除く)			実行	
HTML初期化			実行	
設定データ/HTML初期化			実行	
カメラの再起動			実行	

〔設定データ初期化(ネットワーク設定を除く)〕

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。

初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

〔HTML初期化〕

[実行] ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

〔設定データ/HTML初期化〕

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、

ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。

初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

〔カメラの再起動〕

[実行] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

お知らせ

- ・ ネットワークの設定内容の初期化方法については、付属の取扱説明書 設置編を参照してください。
- ・ アラームまたはメールの通知機能の診断を選択すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている、などのエラーが起こると、設定した「通知先メールアドレス」や独自アラーム通知先に通知することができます。

32 無線通信ユニットに位置情報（GPS）取得機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 ネットワークを設定する [ネットワーク]）

設定画面「無線通信ユニット」に位置情報（GPS）取得機能を追加しました。

接続した無線通信ユニットから位置情報（GPS）を取得、表示します。

表示された緯度経度情報からカメラの設置位置を確認することができます。

ここでは、無線通信ユニット（WV-PW510）に関する設定を行います。

ネットワーク	アドバンス	i-PRO Remo. Service	無線通信ユニット
ログイン設定			
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="password"/>		
位置情報（GPS）			
位置情報（GPS）取得	<input type="button" value="実行"/>		
緯度	(未取得)		
経度	(未取得)		

ログイン設定

【ユーザー名】

無線通信ユニットの管理者のユーザー名を設定します。

入力可能文字数：1～64文字（半角英数字、半角記号）

入力不可文字：半角記号「"」「;」「=」「#」「&」「'」「(」「)」「*」「<」「>」「`」「|」「:」「¥」

【パスワード】

無線通信ユニットの管理者のパスワードを設定します。

入力可能文字数：8～64文字(半角英数字、半角記号)

入力不可文字：半角記号「"」「;」「=」「#」「&」「'」「(」「)」「*」「<」「>」「`」「|」「:」「¥」

お知らせ

- ・ ユーザー名/パスワードを設定すると、無線通信ユニットのLED表示機能などを使用することができます。

- ・ 無線通信ユニットのLED表示機能などについての詳細は、無線通信ユニット（WV-PW510）の取扱説明書を参照してください。

位置情報（GPS）

[位置情報（GPS）取得]

「実行」ボタンをクリックすると、無線通信ユニットから位置情報（GPS）を取得します。

重要

- ・ [位置情報（GPS）取得]を実行すると、再起動を伴う動作を行います。その間、SDカード録画や映像配信等のカメラ操作はできません。本動作は約8分かかります。
- ・ 設置場所の環境によっては、位置情報（GPS）が取得できない場合があります。

お知らせ

- ・ 位置情報（GPS）の取得後は、本設定画面の「緯度」、「経度」欄に情報が表示されているかを確認してください。
- ・ 無線通信ユニットが未接続、または[ログイン設定（ユーザー名／パスワード）]が正しくない場合、位置情報（GPS）の取得に失敗します。無線通信ユニットとカメラの接続や無線通信ユニットのログイン設定（ユーザー名／パスワード）情報を確認してください。
- ・ 取得に失敗した場合は「緯度」、「経度」欄に（未取得）と表示されます。

[緯度]

無線通信ユニットから取得した緯度を表示します。

緯度は小数点第6位まで表示します。

初期設定：（未取得）

[経度]

無線通信ユニットから取得した経度を表示します。

経度は小数点第6位まで表示します。

初期設定：（未取得）

お知らせ

- ・ [緯度]、[経度]情報は[位置情報（GPS）取得]を実行したときのみ更新されます。設置場所を変える場合は再度[位置情報（GPS）取得]を実行してください。
- ・ i-PROカメラアプリケーションで位置情報（GPS）を活用することができます。この場合、i-PROカメラアプリケーションはお客様にて開発が必要です。

33 FTP/SFTPの画像更新速度に2fps、3fpsを追加、プレアラームの解像度に1920x1080を追加、画像送信先サーバーを2か所に拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

ファイル転送機能の通信プロトコル FTP/SFTP機能に以下を追加しました。

- ・ 画像更新速度に2fps、3fpsを追加
- ・ プレアラームの解像度に1920x1080を追加
- ・ 画像送信先サーバーを2か所に拡張

FTP (File Transfer Protocol)、SFTP (SSH File Transfer Protocol) はファイル転送を行うプロトコルであり、サーバーに画像を送信する際に使用します。

SFTPはSSH (Secure Shell)で暗号化されたデータストリームを使って安全に画像をサーバーに送信することができます。

以下の2つの送信機能があります。

- ・ アラーム発生時に画像を送信
- ・ 定期的に画像を送信

33 FTP/SFTPの画像更新速度に2fps、3fpsを追加、プレアラームの解像度に1920x1080を追加、画像送信先サーバーを2か所に拡張

The screenshot shows the configuration interface for I-PRO Remo. Service. The 'アドバンス' (Advanced) tab is selected. Under '送信プロトコル' (Transmission Protocol), SFTP is selected. The 'アラーム設定 (サーバー1)' (Alarm Settings (Server 1)) section is highlighted with a pink box. It includes options for 'アラーム画像送信' (Alarm Image Transmission) set to Off, 'ディレクトリー名' (Directory Name), 'ファイル名' (File Name) with checkboxes for '端子 1', '端子 2', '端子 3', '動作検知', '妨害検知', 'コマンドアラーム', and '音検知'. Below these are settings for 'FTP送信リトライ' (FTP Retransmission) set to Off, 'プレアラーム' (Pre-alarm) with '画像更新速度' (Image Update Rate) at 2fps, '最大画像枚数' (Max Image Count) at 10枚, and '録画時間' (Recording Time) at 0s. 'ポストアラーム' (Post-alarm) has '画像更新速度' at 3fps, '画像枚数' (Image Count) at 100枚, and '録画時間' at 100s. '解像度' (Resolution) is set to JPEG(2) (640x360). The 'アラーム設定 (サーバー2)' (Alarm Settings (Server 2)) section is also visible, with 'アラーム画像送信' set to Off and 'ファイル名' options for '端子 1', '端子 2', and '端子 3'. A note at the bottom states: '[FTP送信リトライ] [プレアラーム] [ポストアラーム] [解像度] は[アラーム設定 (サーバー1)]と共通です。' (FTP Retransmission, Pre-alarm, Post-alarm, and Resolution are common with Alarm Settings (Server 1)).

・ **【送信プロトコル】**

送信先サーバーとのプロトコルをFTP/SFTPから選択して設定します。

SFTP : サーバーと通信する際のプロトコルに、SFTPを使用します。

FTP : サーバーと通信する際のプロトコルに、FTPを使用します。

初期設定 : SFTP

重要

- ・ プロトコル設定でFTPを選択すると、FTPサーバーへの画像送信時にネットワーク上でFTPサーバーの認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。

アラーム設定

アラーム設定(サーバー1)

- ・ **【アラーム画像送信】**

アラームを検出したとき、サーバーへ画像を送信するかどうかをOn/Offで設定します。

On : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

Off : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信しません。

初期設定 : Off

・ **[ディレクトリー名]**

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、サーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。

入力可能文字数 : 1~256文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」

・ **[ファイル名]**

サーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。

ファイル名 : 入力したファイル名 + 日時 (年月日時分秒) + 連続番号

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

[アラーム画像送信] が「On」の場合、アラームの種類を以下から選択することができます。

- ・ **端子1** <端子入出力対応機種のみ> : 端子1にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **端子2** <端子入出力対応機種のみ> : 端子2にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **端子3** <端子入出力対応機種のみ> : 端子3にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **動作検知** : 動作検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **妨害検知** : 妨害検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **音検知** : 音検知が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **コマンドアラーム** : コマンドアラームが入力されたときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **自動追尾【PTZ S】** : 自動追尾が発生したときに、サーバーへ画像を送信します。
- ・ **[FTP送信リトライ]**
FTP転送が失敗したときに、再送するかどうかをOn/Offで選択します。

On : 転送に失敗した場合、転送に成功するまで再送を行います。

Off : 転送に失敗した場合、その画像は破棄して次の画像を送信します。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ [送信プロトコル]がSFTPに設定されているときは、FTP送信リトライ設定は設定できません。
- ・ [画像更新速度]が2fpsまたは3fpsに設定されている場合、FTP送信リトライ設定は設定できません。

・ [プレアラーム]

・ 画像更新速度

アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。

「撮像モード」が60fpsモード/30fpsモード/15fpsモードに設定されている場合：
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps / 2fps / 3fps

「撮像モード」が50fpsモード/25fpsモード/12.5fpsモードに設定されている場合：
0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps / 2fps / 3fps

初期設定 : 1fps

・ 最大画像枚数

送信する画像の枚数を以下から選択します。

0枚 / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚* / 7枚* / 8枚* / 9枚* / 10枚* / 20枚* / 30枚* / 40枚* / 50枚*

初期設定 : 0枚

・ 録画時間

設定した[画像更新速度]、[最大画像枚数]より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

お知らせ

- ・ 送信する画像の解像度にJPEG(1)を設定する場合、JPEG(1)の解像度が「1920x1080」より大きい場合、プレアラームは設定できません。
- ・ アラーム時の画質制御を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、アラーム時の画質になります。プレアラームの録画には適用されません。
- ・ 「プレアラーム」の「最大画像枚数」で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。下記の表は、プレアラームで送信可能な最大画像枚数です。
- ・ 画像更新速度が1fpsより大きい場合は、プレアラームの画像枚数は最大10枚となります。

解像度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1920x1080	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>40</u>
1280x960	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	10	10	10	20	30	40
1280x720	<u>9</u>	<u>9</u>	10	10	10	20	20	30	40	50
VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
640x360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
320x180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

・ **【ポストアラーム】**

・ **画像更新速度**

アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。

「撮像モード」が60fpsモード／30fpsモード／15fpsモードに設定されている場合：
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps / 2fps / 3fps

「撮像モード」が50fpsモード／25fpsモード／12.5fpsモードに設定されている場合：
0.08fps / 0.17fps / 0.28fps / 0.42fps / 1fps / 2fps / 3fps

初期設定：1fps

・ **画像枚数**

送信する画像の枚数を以下から選択します。

1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／1500枚／2000枚／3000枚

初期設定：100枚

・ **録画時間**

設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

お知らせ

・ 送信する画像の解像度にJPEG(1)を設定する場合、JPEG(1)の解像度が「1920×1080」より大きい場合、画像更新速度が最大1fpsになります。

・ 画像更新速度が1fpsより大きい場合は、ポストアラームの画像枚数は最大10枚となります。

・ **【解像度】**

アラーム発生時に送信する画像の解像度を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)

初期設定 : JPEG(2)

アラーム設定 (サーバー2) <端子入出力対応機種のみ>

・ **[アラーム画像送信]**

アラームを検出したとき、サーバーへ画像を送信するかどうかをOn/Offで設定します。

On : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

Off : アラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信しません。

初期設定 : Off

・ **[ディレクトリー名]**

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、サーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。

入力可能文字数 : 1~256文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」

・ **[ファイル名]**

サーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるとき
のファイル名は、以下のようになります。

ファイル名 : 入力したファイル名 + 日時 (年月日時分秒) + 連続番号

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

[アラーム画像送信] が「On」の場合、アラームの種類を以下から選択することができます。

・ **端子1** : 端子1にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

・ **端子2** : 端子2にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

・ **端子3** : 端子3にアラームが発生したときに、サーバーへ画像を送信します。

お知らせ

- ・ 「アラーム設定/アラーム設定(サーバー1)」の端子1~3が選択されていない場合のみ、
「アラーム設定 (サーバー2)」の端子1~3は選択できます。
- ・ 「アラーム設定 (サーバー2) <端子入出力対応機種のみ>」は「アラーム設定/アラーム設定(サーバー1)」の [FTP送信リトライ] [プレアラーム] [ポストアラーム] [解像度] を使用します。

定期送信設定

定期送信は「アラーム設定/アラーム設定(サーバー1)」のみに対して使用可能です。

・ **[定期送信]**

定期送信を行うかどうかをOn/Offで設定します。

「On」に設定した場合は、サーバーの設定を行ってください。

On : 画像の定期送信を行います。

Off : 画像の定期送信を行いません。

初期設定 : Off

重要

- ・ 定期送信を使用する場合は、スケジュールページの [スケジュール] タブで FTP/SFTP定期送のスケジュール設定が必要です。(→スケジュールの設定を行う [スケジュール])

・ **[ディレクトリー名]**

送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、サーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。

入力可能文字数 : 1~256文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」

初期設定 : 空欄

・ **[ファイル名]**

送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。

ファイル名+日時 : 「入力したファイル名+送信日時 (年月日時分秒) +00」をファイル名として使用します。

ファイル名を固定 : 入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「;」「:」「/」「*」「<」「>」「?」「¥」「|」

初期設定 : 空欄

お知らせ

- ・ 「ファイル名+日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名+送信日時 (年月日時分秒) +00」のあとに"s"が付加されたファイル名になります。
- ・ アラーム発生時の「アラーム設定1」と「定期送信設定」を同時に設定すると、アラーム発生時の「アラーム設定1」が実施されます。
- ・ アラーム発生時の「アラーム設定2」と「定期送信設定」を同時に設定すると、ア

ラーム発生時の「アラーム設定2」と「定期送信設定」がどちらも実施されます。

・ **[送信間隔]**

送信間隔を以下から選択します。

1s/2s/3s/4s/5s/6s/10s/15s/20s/30s/1min/2min/3min/4min/5min/
6min/10min/15min/20min/30min/1h/1.5h/2h/3h/4h/6h/12h/24h

初期設定 : 1s

・ **[解像度]**

送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)

初期設定 : JPEG(2)

The screenshot displays a configuration menu with the following sections:

- SFTPサーバー1設定**: Fields for SFTP server address (example: 192.168.0.10), port (22), host key hash (SHA256), username, and password.
- FTPサーバー1設定**: Fields for FTP server address (example: 192.168.0.10), username, password, control port (21), and mode (Passive/Active).
- SFTPサーバー2設定**: Fields for SFTP server address (example: 192.168.0.10), port (22), host key hash (SHA256), username, and password. This section is highlighted with a red border.
- FTPサーバー2設定**: Fields for FTP server address (example: 192.168.0.10), username, password, control port (21), and mode (Passive/Active). This section is also highlighted with a red border.

At the bottom of the menu is a button labeled **設定** (Settings).

SFTPサーバー設定

SFTPサーバー1設定

SFTPサーバー2設定 <端子入出力対応機種のみ>

お知らせ

- ・ [送信プロトコル]がFTPに設定されているときは、SFTPサーバー設定は設定できません。

- ・ **[SFTPサーバーアドレス]**

画像を送信するSFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- ・ [SFTPサーバーアドレス]のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの
[ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])
- ・ **[ポート]**
SFTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：22
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、
10670
- ・ **[ホストキーのハッシュ]**
SFTPサーバーの公開鍵のハッシュ値を入力します。
入力可能文字数：43～44文字
入力可能文字：半角英数字、半角記号「+」「/」「=」
- ・ **[ユーザー名]**
SFTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- ・ **[パスワード]**
SFTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

FTPサーバー設定

FTPサーバー1設定

FTPサーバー2設定 <端子入出力対応機種のみ>

お知らせ

- ・ 「送信プロトコル」がSFTPに設定されているときは、FTPサーバー設定は設定できません。

- ・ **[FTPサーバーアドレス]**

画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- ・ [FTPサーバーアドレス]のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの
[ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→ネットワークを設定する [ネットワーク])
- ・ **[ユーザー名]**
FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- ・ **[パスワード]**
FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」
- ・ **[コントロールポート番号]**
FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：21
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

・ **【モード】**

FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。

通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。

パッシブモード：FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。

アクティブモード：FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。

初期設定：パッシブモード

34 アラーム無検知時間に0.5s、1s、2s、3s、4sを追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] - アラーム動作に関する設定を行う [アラーム] - アラーム動作に関する設定を行う [アラーム])

アラーム無検知時間に0.5s、1s、2s、3s、4sを追加しました。

アラーム

・ [アラーム無検知時間]

アラームを検知したあとに、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯端末・タブレット端末にメール通知を行う設定の場合、本設定によってメールを送信しすぎないようにすることが可能です。 0.5s、1～600s

初期設定：5s

アラーム		動作検知エリア	妨害検知エリア	音検知	通知
アラーム					
端子 1		Off	▼		
端子 2		Off	▼		
端子 3		Off	▼		
動作検知アラーム		動作検知設定△			
妨害検知アラーム		妨害検知設定△			
音検知アラーム		音検知設定△			
コマンドアラーム	コマンドアラーム	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off			
	受信ポート番号	8181 (1-65535)			
アラーム無検知時間		5 s (0.5s,1-600s)			
アラームテスト		実行			

- ・ 妨害検知許可
- ・ 音検知許可
- ・ 画像公開許可
- ・ SD録画
- ・ シーンファイル
- ・ SFTP定期送信
- ・ メール送信許可
- ・ ポジションリフレッシュ
- ・ プリセットポジション (1~64)
- ・ 全アラーム検知許可 (みえますねっと設定時、かつスケジュール8のみ)
- ・ <自動スケジュール>昼間：画質1/夜間：画質2 (スケジュール1のみ)
- ・ カメラの再起動 (スケジュール8のみ)

スケジュールページは、[スケジュール] タブのみで構成されています。

スケジュールは、最大8個まで設定することができます。

1. [動作モード]からスケジュールの動作を選択します。

初期設定時は「Off」に設定されています。

Off : スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可 (端子1,2,3) : スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子1) : スケジュール設定されている間、端子1のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子2) : スケジュール設定されている間、端子2のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子3) : スケジュール設定されている間、端子3のアラーム入力を許可します。

動作検知許可 : スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

妨害検知許可 : スケジュール設定されている間、妨害検知を許可します。

音検知許可 : スケジュール設定されている間、音検知を許可します。

画像公開許可 : スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証] タブ (→ 3.9.1 ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) で設定したアクセスレベルが「2.カメラ制御」、「3.ライブ画表示」のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画 : スケジュール設定された時間になると、[録画ストリーム]で設定されたSD録画を行います。なお、[録画圧縮方式]がストリームのときのみ有効です。

全アラーム検知許可 : [DDNS]で「みえますねっと」に設定している場合、スケジュール8でのみ選択できます。スケジュール設定がされている間は、すべてのアラーム入

力を許可します。「月」から「日」、および「24 h」が自動的に設定され、変更できません。

画質1 : Scene1 (シーンファイル1) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル1」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質2 : Scene2 (シーンファイル2) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル2」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質3 : Scene3 (シーンファイル3) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル3」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質4 : Scene4 (シーンファイル4) : スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル4」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

SFTP定期送信 : スケジュール設定された時間になると、SFTP定期送信を行います。

メール送信許可 : スケジュール設定されている間、アラーム発生時にメール通知を行います。

ポジションリフレッシュ : スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。

1~64 : スケジュール設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。

<<自動スケジュール>昼間 : 画質1/夜間 : 画質2 : 日出の時刻になると「シーンファイル1」の画質設定になり、日入の時刻になると「シーンファイル2」の画質設定になります。スケジュール1のみ選択できます。日出時刻・日入時刻が設定されていない場合は、選択できません。設定方法は「日出時刻・日入時刻で画質を切り替える設定のしかた」を参照してください。

カメラの再起動 : スケジュール設定された時間になると、カメラの再起動を行います。スケジュール8でのみ選択できます。

お知らせ

- ・ 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの[ユーザー認証] (→3.9.1 ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]) を「On」に、[ホスト認証] タブの[ホスト認証] (→3.9.2 ホスト認証を設定する [ホスト認証]) を「Off」に設定してください。
- ・ 「SD録画」で使用する場合は、[SDメモリーカード] タブの [録画圧縮方式] を「ストリーム (1)」、「ストリーム (2)」、「ストリーム (3)」、「ストリーム (4)」にし、[保存モード] を「スケジュール保存」に設定してください。(→ [保存モード])

- ・ スケジュール1の「<自動スケジュール>昼間：画質1/夜間：画質2」と、スケジュール2～8の「画質1：Scene1（シーンファイル1）」「画質2：Scene2（シーンファイル2）」「画質3：Scene3（シーンファイル3）」「画質4：Scene4（シーンファイル4）」は同時に選択できません。
- 2. 「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

お知らせ

- ・ スケジュール1で「<自動スケジュール>昼間：画質1/夜間：画質2」が選択されている場合、曜日ボックスは無効になります。
- 3. 時間を指定するときは [▼] をクリックして時間を設定します。時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

お知らせ

- ・ スケジュール1で「<自動スケジュール>昼間：画質1/夜間：画質2」が選択されている場合、時間帯設定は無効になります。
- 4. 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

お知らせ

- ・ スケジュール1～スケジュール8に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。
- ・ ポジションリフレッシュと画質の設定時刻を同時刻に設定した場合、画質の反映はポジションリフレッシュ完了後になります。
- ・ スケジュール1～8の動作モードが「Off」に設定されている場合、以下の項目については常に動作が許可されている状態になります。
 - アラーム入力許可（端子1,2,3）
 - アラーム入力許可（端子1）
 - アラーム入力許可（端子2）
 - アラーム入力許可（端子3）
 - 動作検知許可
 - 妨害検知許可
 - 音検知許可
 - 画像公開許可
 - 全アラーム検知許可（みえますねっと設定時、かつスケジュール8のみ）

日出時刻・日入時刻で画質を切り替える設定のしかた

1. 「日出時刻・日入時刻に連動したシーン設定」から日出・日入の時刻を設定します。

[シーン設定 (画質調整) へ]

シーン設定を行うための画質調整へのリンクです。

[基本設定へ]

タイムゾーンを設定するための基本設定へのリンクです。

[自動スケジュール (Manual/都市名選択)]

[緯度] [経度] [標高] の入力方法を選択します。

- 未使用：動作モードの「<自動スケジュール>昼間：画質1 (Scene 1) / 夜間：画質2 (Scene 2)」を無効にします。
- Manual：[緯度] [経度] [標高] を手動入力します。
- (都市名)：都市一覧が表示されます。選択した都市の [緯度] [経度] [標高] が入力され、[自動計算結果] に使用されます。

初期設定：未使用

[緯度]

使用するカメラの地域の緯度を入力してください。

入力範囲：-180~180 (10進数表記小数点第6位まで有効)

初期設定：0

[経度]

使用するカメラの地域の経度を入力してください。

入力範囲：-90~90 (10進数表記小数点第6位まで有効)

初期設定：0

[標高]

使用するカメラの地域の標高を入力してください。

空欄の場合は「10m」で計算されます。

入力範囲：-500~9000(m)

初期設定：10

[自動計算結果]

[緯度] [経度] [標高] から日出・日入時刻が計算されます。
[設定]ボタンをクリックしないと計算結果は反映されません。

[日出時間・日入時間補正]

[自動計算結果] の日出・日入時刻に時間補正を行い、画質を反映する時間を決めます。
入力範囲：-60～60(分)
初期設定：0

2. [設定]ボタンをクリックします。

3. スケジュール設定を行います。
設定方法は「スケジュールの設定を行う [スケジュール]」を参照してください。

36 SNMPエージェント設定に有効/無効の設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - SNMPを設定する)
ネットワークページの「アドバンス」タブの「SNMP」に「SNMP」の「有効/無効」設定を追加しました。



SNMP設定

- ・ [SNMP設定]

SNMP機能の有効/無効を設定します。

初期設定：有効

お知らせ

- ・ [SNMP設定]を「無効」にすると[SNMPエージェント設定][SNMPトラップ設定]が設定できなくなります。

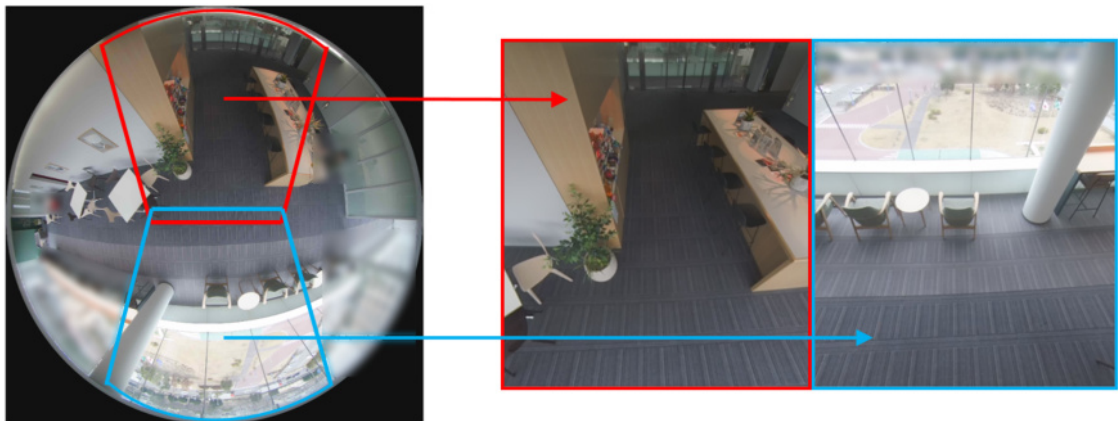
37 撮像モードにコリドービューモードを追加

(取扱説明書 操作・設定編 ライブ画像の種類について - 撮像モードについて)

コリドービューは、魚眼画像の上下部分の歪を補正して左右に並べて表示する機能です。コリドービューで表示するため、撮像モードに「コリドー」、「魚眼+コリドー」を追加します。

37.1 画像の種類

コリドービューは、魚眼画像の上下部分の画像を歪み補正して、左右に表示します。魚眼の中心部、左右の領域は死角となり、コリドービュー画像には表示されません。



37.2 撮像モードについて

「コリドー」、「魚眼+コリドー」で使用可能な解像度と最大フレームレートは以下の通りです。(マルチスクリーンを除く)

撮像モード	ストリーム (1)	ストリーム (2)	JPEG(1)	JPEG(2)	最大 フレームレート
コリドー	2560×1440 【fisheye9M】 1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1920×1080 【fisheye9M】 1280×720 640×360 320×180	2560×1440 【fisheye9M】 1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1920×1080 【fisheye9M】 1280×720 640×360 320×180	30fps ² /25fps 【fisheye5M】 15fps/12.5fps 【fisheye9M】
魚眼+ コリドー	魚眼： 2992×2992 【fisheye9M】 2192×2192 1280×1280	コリドー ¹ ： 1280×720 640×360 320×180	魚眼： 2992×2992 2192×2192 1280×1280 640×640 320×320	コリドー： 1280×720 640×360 320×180	30fps ² /25fps 【fisheye9M】 15fps/12.5fps 【fisheye5M】

¹ オートVIQSは使用不可

² [オーディオ出力端子]が「モニター出力」に設定されている場合には、最大フレームレートが落ちることがあります。

37.2.1 撮像モードタイプによる表示可能な画像の種類

「コリドー」、「魚眼+コリドー」で表示可能な画像の種類は以下の通りです。

撮像モードタイプ	撮像モード	画像の種類	対応する設置場所
1モニター 1種類の画像を配信するタイプです。	コリドー	コリドー	天井
2モニター 2種類の画像を配信するタイプです。	魚眼+コリドー	魚眼、コリドー	天井

・ 撮像モードタイプが「2モニター」の場合は、[ストリーム(1)]は魚眼、[ストリーム(2)]はパノラマ、ダブルパノラマ、コリドー、4画PTZのいずれかになります。

37.2.2 携帯端末（スマートフォンを含む）から画像を見る

「コリドー」、「魚眼+コリドー」で携帯端末から表示できる解像度は以下の通りです。

撮像モード	解像度
コリドー	1920×1080／1280×720／640×360／320×180
魚眼+コリドー	魚眼時： 2192×2192／1280×1280／640×640／320×320 コリドー時： 1280×720／640×360／320×180

37.2.3 ストリーム配信時のJPEG画像制限について

[ストリーム配信] (→ストリーム(1)・ストリーム(2)) を「On」に設定すると、[圧縮方式] の設定に従い、H.265 (またはH.264) 画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG 画像が表示されます。[ストリーム配信]を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。この場合、JPEG画像の画像更新速度 (30fpsモード/25fpsモード) は以下のように制限されます。

モデル			
		On	Off
【fisheye9M】	コリドー	最大5fps／4.2fps	最大15fps／12.5fps
	魚眼+コリドー	最大5fps／4.2fps	最大5fps／4.2fps
【fisheye5M】	コリドー	最大5fps／4.2fps	最大30fps／25fps
	魚眼+コリドー	最大5fps／4.2fps	最大15fps／12.5fps

※ JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、解像度、画質、アクセス数により遅くなることがあります。

37.3 SDメモリーカードの画像を再生する

SDメモリーカードに保存されている画像の解像度に関係なく、再生ページでは[撮像モード]と[録画圧縮方式]の設定に応じて決められたサイズで表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。

撮像モード	動画圧縮方式	再生サイズ
コリドー	すべて	640×360
魚眼+コリドー	「JPEG(1)」または「ストリーム(1)」	480×480
	「JPEG(2)」または「ストリーム(2)」	VGA

※ SDメモリーカードへの録画中は、再生の更新速度が遅くなる場合があります。

37.4 プリセットポジションを設定する

「コリドー」、「魚眼+コリドー」のプリセットポジション設定はそれぞれ「ダブルパノラマ」、「魚眼+ダブルパノラマ」と同様です。

コリドー画像の初期位置設定の場合、[位置調整]ボタンをクリックすることで左右90°調整することができます。その際は左右のコリドー画像が連動して動きます。

37.5 動作検知の設定を行う

撮像モードがコリドーの場合の動作検知設定は、以下の内容を除いて「ダブルパノラマ」と同様です。

- ・ 左側の画像、右側の画像それぞれ2つ（左側「1（白）」「2（青）」、右側「3（緑）」「4（赤）」）の動作検知エリアを設定できます。
- ・ 全領域が選択された場合は「エリア」の「1（白）」と「3（緑）」に設定されます。

37.6 妨害検知の設定を行う

撮像モードがコリドーの場合の妨害検知設定は以下の内容を除いて「ダブルパノラマ」と同様です。

- ・ 左側の画像、右側の画像それぞれ1つ（左側「白」、右側「緑」）の妨害検知エリアを設定できます。

38 ストリーム(1)、ストリーム(2)の解像度に 1280x720を追加 (4Mピクセルモデルのみ)

(取扱説明書 操作・設定編 設定 - 画像に関する設定を行う [ストリーム])

(取扱説明書 操作・設定編 詳細設定 - 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声]
- ストリームに関する設定を行う [映像])

映像		画質	音声
撮像モード		16:9モード(60fpsモード) ▾	
ライブ画 (初期表示)			
初期表示ストリーム		ストリーム(1) ▾	
JPEG画像更新速度(動画時) *		5fps ▾	
JPEG			
JPEG(1)	解像度	1920x1080 ▾	
	画質	5 標準 ▾	
JPEG(2)	解像度	640x360	
	画質	5 標準 ▾	
ストリーム(1)			
ストリーム配信		<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	
圧縮方式		<input checked="" type="radio"/> H.265 <input type="radio"/> H.264	
解像度		1280x720 ▾	
配信モード		フレームレート指定 ▾	
フレームレート *		60fps * ▾	
1クライアントあたりのビットレート *		3072kbps * ▾	3072 kbps
画質		標準 ▾	
スマートコーディング	スマートVIQS	Off ▾	
	スマートピクチャ制御	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	
	GOP制御	Off ▾	
リフレッシュ間隔		1s ▾	
配信方式		ユニキャスト(ポート番号設定: オート) ▾	
ユニキャストポート番号1(画像)		32004 (1024-50000)	
ユニキャストポート番号2(音声)		33004 (1024-50000)	
マルチキャストアドレス		239.192.0.20	
マルチキャストポート番号		37004 (1024-50000)	
マルチキャストTTL/HOPLimit		16 (1-254)	

ストリーム

ストリーム(1)・ストリーム(2)

[解像度]

撮像モード	ストリーム(1)	ストリーム(2)
4メガピクセル[16:9]（30fpsモード）	2688x1520	<u>1280x720</u>
4メガピクセル[16:9]（25fpsモード）	2560x1440	640x360
	1920x1080	320x180
	<u>1280x720</u>	
4メガピクセル[16:9]（30fps Quad モード）	2688x1520	<u>1280x720</u>
4メガピクセル[16:9]（25fps Quadモード）	2560x1440	640x360
4メガピクセル[16:9]（30fps Stitching モード）	1920x1080	
4メガピクセル[16:9]（25fps Stitching モード）	<u>1280x720</u>	

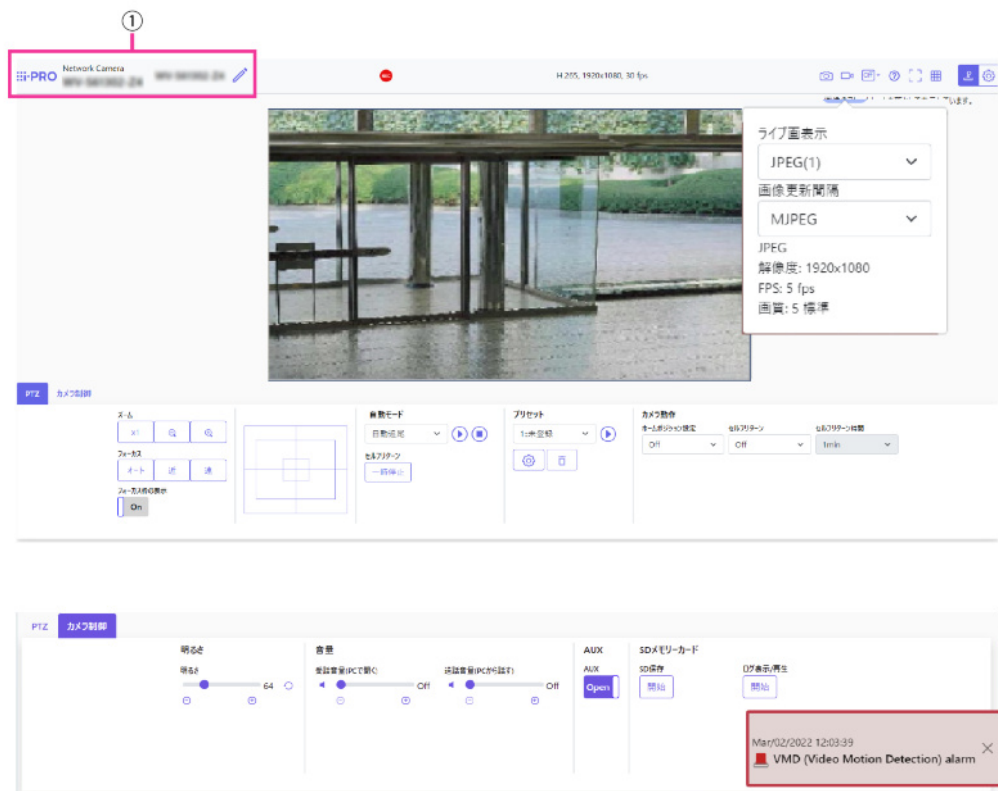
お知らせ

- ・ [基本] タブで[画像回転]を「90°」、「270°」に設定している場合、解像度320x180 は設定できません。
- ・ ストリーム(1)が2688x1520、ストリーム(2)が1280x720のときは、フレームレートが最大15fps（25fpsモード時は最大12.5fps）に制限されます。

39 カメラタイトル横にタイトル編集アイコン追加

(取扱説明書 操作・設定編 PCから画像を見る – ライブ画ページについて)

カメラタイトル横にタイトル編集アイコンを追加し、クリックすることでカメラタイトルが編集できます。



① [カメラタイトル]

[基本]タブの[カメラタイトル]で入力したカメラタイトルが表示されます。(→[カメラタイトル])

アイコンをクリックすると、[カメラタイトル]がテキストボックスとなり文字列を編集可能となります。

40 i-PRO Remo. Serviceを使用する時の制限に関するお知らせを追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

お知らせ

- ・ i-PRO Remo. Serviceを使用する場合、ストリーム(3)およびストリーム(4)の解像度はVGA (640x360) に変更されます。
- ・ インストールしている機能拡張ソフトウェアによっては、i-PRO Remo. Serviceが使用する内部メモリーが不足することがあります。機能拡張ソフトウェアページの [ソフトウェア管理] タブの[残RAM容量]が15MB以上あることを確認してください。15MB未満の場合、i-PRO Remo. Serviceは正常に動作しません。
- ・ i-PRO Remo. Serviceを使用している状態で機能拡張ソフトウェアをインストールした場合、機能拡張ソフトウェアページの [ソフトウェア管理] タブの[残RAM容量]が15MB以上あることを確認してください。15MB未満の場合、i-PRO Remo. Serviceは正常に動作しません。
- ・ i-PRO Remo. Serviceと機能拡張ソフトウェアを同時に使用する場合は、i-PRO Remo. Serviceと同時に使用できる機能拡張ソフトウェアかどうかを確認してください。

41 「SDメモリーカード」設定に「SDメモリーカードファイルシステム形式」追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] -SDメモリーカードを設定する

[SDメモリーカード])

SDメモリーカードのファイルシステム形式を選択する「SDメモリーカードファイルシステム形式」を追加しました。

基本		SDメモリーカード	オーバーレイ画像
運用モード			
SDメモリーカード	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない		
機能拡張ソフトウェアモード	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
SDメモリーカードファイルシステム形式	<input type="radio"/> FAT(FAT16/FAT32/exFAT) <input checked="" type="radio"/> ext(ext4)		
録音	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
SDメモリーカード残容量通知	50% ▾		
上書き	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
<small>※[SDメモリーカードファイルシステム形式]が[ext(ext4)]に設定されている場合、機能拡張ソフトウェアからのみSDメモリーカードを使用できます。カメラのSDメモリーカード機能を使用する場合は、[FAT(FAT16/FAT32/exFAT)]に設定し、「フォーマット」を実行してください。</small>			
SDメモリーカードセキュリティ設定			
改ざん検出情報付加	<input type="button" value="詳細設定へ>>"/>		
パスワードロック	パスワード	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="解除"/> <input type="button" value="変更"/>	
	状態	未設定	
録画ストリーム			
録画圧縮方式	Off ▾		
保存モード	アラーム発生時 ▾		
	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 妨害検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <small>※「機能拡張ソフトウェア」によるアラームについては、「アラーム発生時」を選択するだけで保存されます。</small>		
SDメモリーカード情報			
容量表示	60780MB/60874MB (残容量/総容量)		
フォーマット	<input type="button" value="実行"/>		
<input type="button" value="設定"/>			

[機能拡張ソフトウェアモード]

インストールした機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用する場合に本設定を「On」に設定します。

- ・ **On**：機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができるようになります。その場合、本機機能によるSDメモリーカードへの録画等が使用できなく

なります。

- ・ **Off** : 機能拡張ソフトウェアが、本機のSDメモリーカードを使用することができません。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ 機能拡張ソフトウェアについては、弊社のサポートウェブサイト<管理番号 : C0103>を参照してください。

[SDメモリーカードファイルシステム形式]

SDメモリーカードのファイルシステム形式を選択できます。[機能拡張ソフトウェアモード]が「On」のときのみ、選択できます。

- ・ **FAT(FAT16/FAT32/exFAT)** : FAT形式のSDメモリーカードを使用できます。
- ・ **ext(ext4)** : ext形式のSDメモリーカードを使用できます。

重要

- ・ [SDメモリーカードファイルシステム形式]を変更した場合、[フォーマット]の[実行]ボタンをクリックしてSDメモリーカードをフォーマットしてください。

お知らせ

- ・ 「ext(ext4)」を選択した場合、機能拡張ソフトウェアでのみSDメモリーカードが使用できます。従ってSDメモリーカードへの録画機能および録音機能、SDメモリーカード残容量通知などの機能が使用できなくなります。
- ・ 「ext(ext4)」を選択した場合、メンテナンスページの[ステータス]タブでSDメモリーカードの過去情報が消去され、表示もできなくなります。(→ステータスを確認する [ステータス])
- ・ 「ext(ext4)」を選択した場合、SDメモリーカードの容量を表示できなくなります。(→SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]) (→ログリストを表示する) (→タブレット端末から画像を見る)

[フォーマット]

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行]ボタンをクリックします。

[SDメモリーカードファイルシステム形式]で選択されているファイル形式でフォーマット
します。

お知らせ

- ・ [SDメモリーカードファイルシステム形式]で「ext(ext4)」を選択してSDメモリーカードをフォーマットする場合、SDメモリーカードによってはフォーマットが完了するまで20分程度かかることがあります。
- ・ SDメモリーカードをext形式でフォーマットした後は、SDメモリーカードを使用する

機能拡張ソフトウェアの動作を確認してください。

42 i-PRO Remo. Serviceを80番以外のHTTPポートでも利用できるように拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

i-PRO Remo. Serviceが80番以外のHTTPポートでも利用できるようになりました。

43 i-PRO Remo. ServiceをHTTPS接続でも利用できるように拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

i-PRO Remo. ServiceがHTTPS接続でも利用できるようになりました。デフォルトポート(443番)以外も利用することができます。

44 GOP制御「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」設定時にフレームレート半減しないように対応

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声] - ストリームに関する設定を行う [映像])

GOP制御時のフレームレートの制限緩和に伴い、お知らせの記載を変更しました。

ストリーム(1)・ストリーム(2)

【スマートコーディング】 - 【スマートVIQS】

物体（頭・人・車・二輪車）のある場所の画質を高画質に保ち、その他のエリアでは低/中画質を保ちながら、データ量が少なくなるように映像を配信します。

- ・ Off : スマートVIQSを使用しません。
- ・ On(High) : 物体（頭・人・車・二輪車）のある場所の画質を高画質に保ち、その他のエリアでは低画質を保ちながら、データ量が少なくなるように映像を配信します。
- ・ On(Low) : 物体（頭・人・車・二輪車）のある場所の画質を高画質に保ち、その他のエリアでは中画質を保ちながら、データ量が少なくなるように映像を配信します。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ 本機能は「ストリーム(1)」でのみ使用できます。「On(High)」または「On(Low)」を選択した場合、[画質] タブから設定するVIQSの設定は無効となります。
- ・ スマートコーディングを働かせるとスマートVIQSをOn(High)、On(Low)に設定すると、設定されているフレームレートにかかわらず、最大7.5fps（12.5fpsモード時は最大6.25fps）【S857xL】 最大15fps（25fpsモード時は最大12.5fps）【S854xL】に制限されます。

【スマートコーディング】 - 【スマートPピクチャ制御】

データ量を少なくするため、物体（頭・人・車・二輪車）のある場所以外では、データ（マクロブロック）を極力生成しないように制御します。

- ・ Off : スマートPピクチャ制御を使用しません。
- ・ On : データ量を少なくするため、物体（頭・人・車・二輪車）のある領域以外では、Pピクチャのデータを極力生成しないように制御します。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・ 本機能は「ストリーム(1)」でのみ使用できます。「On」を選択した場合、[画質] タブから設定するVIQSの設定は無効となります。
- ・ 「On」を選択した場合、物体（頭・人・車・二輪車）が無い場所では、動きがスムーズでなかったりノイズが発生したりする場合があります。
- ・ スマートピクチャ制御をOnに設定すると、設定されているフレームレートにかかわらず、最大7.5fps（12.5fpsモード時は最大6.25fps）【S857xL】最大15fps（25fpsモード時は最大12.5fps）【S85x4L】に制限されます。

【スマートコーディング】 - 【GOP制御】

GOP制御を使用すると、データ量を少なくすることができます。

- ・ [圧縮方式]で「H.265」を選択している場合 : Off/Low(可変GOP 1s-8s)/Mid(可変GOP 4s-16s)/Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)/Frame rate control(可変GOP4s-16s + framerate control)
- ・ [圧縮方式]で「H.264」を選択している場合 : Off/Low(可変GOP 1s-8s)/Mid(可変GOP 4s-16s)

初期設定 : Off

重要

- ・ 「Low(可変GOP 1s-8s)」、「Mid(可変GOP 4s-16s)」、「Frame rate control(可変GOP4s-16s+ frame rate control)」を設定した場合は、「手動保存」「スケジュール保存」でのみSDカードに録画することができます。

お知らせ

- ・ GOP制御を使用すると、H.265（またはH.264）画像をリフレッシュする間隔が長くなります。そのため、ネットワーク環境でエラーが多い場合は使用しないでください。
- ・ 「Low(可変GOP 1s-8s)」 / 「Mid(可変GOP 4s-16s)」 / 「Frame rate control(可変GOP4s-16s + frame rate control)」は、[配信モード]で「可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」は、[配信モード]に関わらず設定できます。
- ・ 「Low(可変GOP 1s-8s)」 / 「Mid(可変GOP 4s-16s)」 / 「Frame rate control(可変GOP4s-16s + frame rate control)」は画像内に検知物体（顔・人・車・二輪車）がない場合のデータ量を少なくすることができます。「Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)」は検知物体の有無に関わらずデータ量を少なくすることができます。
- ・ 「Frame rate control(可変GOP 4s-16s + frame rate control)」を設定した場合は、検知

物体の有無に応じてフレームレートを1fpsから [フレームレート*] で設定した値の間で可変します。

- 「Frame rate control(可変GOP 4s-16s + frame rate control)」を設定した場合は、フレームレートの切り替わりの際に一時的に表示がゆっくりになったり、早くなったりすることがあります。
- Low(可変GOP 1s-8s)／Mid(可変GOP 4s-16s)／Advanced(固定GOP 60s + 1sキーフレーム)／Frame rate control(可変GOP4s-16s + frame rate control)を選択すると、ビットレートに制限がかかります。
- GOP制御をLow(可変GOP 1s-8s)／Mid(可変GOP 4s-16s)／Frame rate control(可変GOP4s-16s + framerate control)に設定すると、設定されているフレームレートにかかわらず、最大7.5fps (12.5fpsモード時は最大6.25fps)【S857xL】最大15fps (25fpsモード時は最大12.5fps)【S85x4L】に制限されます。

45 プリセットシーケンスの初期値を変更

(取扱説明書 操作・設定編 PTZに関する設定を行う [PTZ] - ポジションに関する設定を行う [ポジション] - プリセットシーケンス設定に関する設定を行う (プリセットシーケンス設定画面))

プリセットシーケンス設定の初期値を「すべて有効」に変更しました。

[プリセットシーケンス設定](#)

プリセットシーケンス設定

-プリセットシーケンス1

全選択	全解除						
<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input checked="" type="checkbox"/> 6	<input checked="" type="checkbox"/> 7	<input checked="" type="checkbox"/> 8
<input checked="" type="checkbox"/> 9	<input checked="" type="checkbox"/> 10	<input checked="" type="checkbox"/> 11	<input checked="" type="checkbox"/> 12	<input checked="" type="checkbox"/> 13	<input checked="" type="checkbox"/> 14	<input checked="" type="checkbox"/> 15	<input checked="" type="checkbox"/> 16
<input checked="" type="checkbox"/> 17	<input checked="" type="checkbox"/> 18	<input checked="" type="checkbox"/> 19	<input checked="" type="checkbox"/> 20	<input checked="" type="checkbox"/> 21	<input checked="" type="checkbox"/> 22	<input checked="" type="checkbox"/> 23	<input checked="" type="checkbox"/> 24
<input checked="" type="checkbox"/> 25	<input checked="" type="checkbox"/> 26	<input checked="" type="checkbox"/> 27	<input checked="" type="checkbox"/> 28	<input checked="" type="checkbox"/> 29	<input checked="" type="checkbox"/> 30	<input checked="" type="checkbox"/> 31	<input checked="" type="checkbox"/> 32
<input checked="" type="checkbox"/> 33	<input checked="" type="checkbox"/> 34	<input checked="" type="checkbox"/> 35	<input checked="" type="checkbox"/> 36	<input checked="" type="checkbox"/> 37	<input checked="" type="checkbox"/> 38	<input checked="" type="checkbox"/> 39	<input checked="" type="checkbox"/> 40
<input checked="" type="checkbox"/> 41	<input checked="" type="checkbox"/> 42	<input checked="" type="checkbox"/> 43	<input checked="" type="checkbox"/> 44	<input checked="" type="checkbox"/> 45	<input checked="" type="checkbox"/> 46	<input checked="" type="checkbox"/> 47	<input checked="" type="checkbox"/> 48
<input checked="" type="checkbox"/> 49	<input checked="" type="checkbox"/> 50	<input checked="" type="checkbox"/> 51	<input checked="" type="checkbox"/> 52	<input checked="" type="checkbox"/> 53	<input checked="" type="checkbox"/> 54	<input checked="" type="checkbox"/> 55	<input checked="" type="checkbox"/> 56
<input checked="" type="checkbox"/> 57	<input checked="" type="checkbox"/> 58	<input checked="" type="checkbox"/> 59	<input checked="" type="checkbox"/> 60	<input checked="" type="checkbox"/> 61	<input checked="" type="checkbox"/> 62	<input checked="" type="checkbox"/> 63	<input checked="" type="checkbox"/> 64
<input checked="" type="checkbox"/> 65	<input checked="" type="checkbox"/> 66	<input checked="" type="checkbox"/> 67	<input checked="" type="checkbox"/> 68	<input checked="" type="checkbox"/> 69	<input checked="" type="checkbox"/> 70	<input checked="" type="checkbox"/> 71	<input checked="" type="checkbox"/> 72
<input checked="" type="checkbox"/> 73	<input checked="" type="checkbox"/> 74	<input checked="" type="checkbox"/> 75	<input checked="" type="checkbox"/> 76	<input checked="" type="checkbox"/> 77	<input checked="" type="checkbox"/> 78	<input checked="" type="checkbox"/> 79	<input checked="" type="checkbox"/> 80
<input checked="" type="checkbox"/> 81	<input checked="" type="checkbox"/> 82	<input checked="" type="checkbox"/> 83	<input checked="" type="checkbox"/> 84	<input checked="" type="checkbox"/> 85	<input checked="" type="checkbox"/> 86	<input checked="" type="checkbox"/> 87	<input checked="" type="checkbox"/> 88
<input checked="" type="checkbox"/> 89	<input checked="" type="checkbox"/> 90	<input checked="" type="checkbox"/> 91	<input checked="" type="checkbox"/> 92	<input checked="" type="checkbox"/> 93	<input checked="" type="checkbox"/> 94	<input checked="" type="checkbox"/> 95	<input checked="" type="checkbox"/> 96
<input checked="" type="checkbox"/> 97	<input checked="" type="checkbox"/> 98	<input checked="" type="checkbox"/> 99	<input checked="" type="checkbox"/> 100	<input checked="" type="checkbox"/> 101	<input checked="" type="checkbox"/> 102	<input checked="" type="checkbox"/> 103	<input checked="" type="checkbox"/> 104
<input checked="" type="checkbox"/> 105	<input checked="" type="checkbox"/> 106	<input checked="" type="checkbox"/> 107	<input checked="" type="checkbox"/> 108	<input checked="" type="checkbox"/> 109	<input checked="" type="checkbox"/> 110	<input checked="" type="checkbox"/> 111	<input checked="" type="checkbox"/> 112
<input checked="" type="checkbox"/> 113	<input checked="" type="checkbox"/> 114	<input checked="" type="checkbox"/> 115	<input checked="" type="checkbox"/> 116	<input checked="" type="checkbox"/> 117	<input checked="" type="checkbox"/> 118	<input checked="" type="checkbox"/> 119	<input checked="" type="checkbox"/> 120
<input checked="" type="checkbox"/> 121	<input checked="" type="checkbox"/> 122	<input checked="" type="checkbox"/> 123	<input checked="" type="checkbox"/> 124	<input checked="" type="checkbox"/> 125	<input checked="" type="checkbox"/> 126	<input checked="" type="checkbox"/> 127	<input checked="" type="checkbox"/> 128
<input checked="" type="checkbox"/> 129	<input checked="" type="checkbox"/> 130	<input checked="" type="checkbox"/> 131	<input checked="" type="checkbox"/> 132	<input checked="" type="checkbox"/> 133	<input checked="" type="checkbox"/> 134	<input checked="" type="checkbox"/> 135	<input checked="" type="checkbox"/> 136
<input checked="" type="checkbox"/> 137	<input checked="" type="checkbox"/> 138	<input checked="" type="checkbox"/> 139	<input checked="" type="checkbox"/> 140	<input checked="" type="checkbox"/> 141	<input checked="" type="checkbox"/> 142	<input checked="" type="checkbox"/> 143	<input checked="" type="checkbox"/> 144
<input checked="" type="checkbox"/> 145	<input checked="" type="checkbox"/> 146	<input checked="" type="checkbox"/> 147	<input checked="" type="checkbox"/> 148	<input checked="" type="checkbox"/> 149	<input checked="" type="checkbox"/> 150	<input checked="" type="checkbox"/> 151	<input checked="" type="checkbox"/> 152
<input checked="" type="checkbox"/> 153	<input checked="" type="checkbox"/> 154	<input checked="" type="checkbox"/> 155	<input checked="" type="checkbox"/> 156	<input checked="" type="checkbox"/> 157	<input checked="" type="checkbox"/> 158	<input checked="" type="checkbox"/> 159	<input checked="" type="checkbox"/> 160
<input checked="" type="checkbox"/> 161	<input checked="" type="checkbox"/> 162	<input checked="" type="checkbox"/> 163	<input checked="" type="checkbox"/> 164	<input checked="" type="checkbox"/> 165	<input checked="" type="checkbox"/> 166	<input checked="" type="checkbox"/> 167	<input checked="" type="checkbox"/> 168
<input checked="" type="checkbox"/> 169	<input checked="" type="checkbox"/> 170	<input checked="" type="checkbox"/> 171	<input checked="" type="checkbox"/> 172	<input checked="" type="checkbox"/> 173	<input checked="" type="checkbox"/> 174	<input checked="" type="checkbox"/> 175	<input checked="" type="checkbox"/> 176
<input checked="" type="checkbox"/> 177	<input checked="" type="checkbox"/> 178	<input checked="" type="checkbox"/> 179	<input checked="" type="checkbox"/> 180	<input checked="" type="checkbox"/> 181	<input checked="" type="checkbox"/> 182	<input checked="" type="checkbox"/> 183	<input checked="" type="checkbox"/> 184
<input checked="" type="checkbox"/> 185	<input checked="" type="checkbox"/> 186	<input checked="" type="checkbox"/> 187	<input checked="" type="checkbox"/> 188	<input checked="" type="checkbox"/> 189	<input checked="" type="checkbox"/> 190	<input checked="" type="checkbox"/> 191	<input checked="" type="checkbox"/> 192
<input checked="" type="checkbox"/> 193	<input checked="" type="checkbox"/> 194	<input checked="" type="checkbox"/> 195	<input checked="" type="checkbox"/> 196	<input checked="" type="checkbox"/> 197	<input checked="" type="checkbox"/> 198	<input checked="" type="checkbox"/> 199	<input checked="" type="checkbox"/> 200
<input checked="" type="checkbox"/> 201	<input checked="" type="checkbox"/> 202	<input checked="" type="checkbox"/> 203	<input checked="" type="checkbox"/> 204	<input checked="" type="checkbox"/> 205	<input checked="" type="checkbox"/> 206	<input checked="" type="checkbox"/> 207	<input checked="" type="checkbox"/> 208
<input checked="" type="checkbox"/> 209	<input checked="" type="checkbox"/> 210	<input checked="" type="checkbox"/> 211	<input checked="" type="checkbox"/> 212	<input checked="" type="checkbox"/> 213	<input checked="" type="checkbox"/> 214	<input checked="" type="checkbox"/> 215	<input checked="" type="checkbox"/> 216
<input checked="" type="checkbox"/> 217	<input checked="" type="checkbox"/> 218	<input checked="" type="checkbox"/> 219	<input checked="" type="checkbox"/> 220	<input checked="" type="checkbox"/> 221	<input checked="" type="checkbox"/> 222	<input checked="" type="checkbox"/> 223	<input checked="" type="checkbox"/> 224
<input checked="" type="checkbox"/> 225	<input checked="" type="checkbox"/> 226	<input checked="" type="checkbox"/> 227	<input checked="" type="checkbox"/> 228	<input checked="" type="checkbox"/> 229	<input checked="" type="checkbox"/> 230	<input checked="" type="checkbox"/> 231	<input checked="" type="checkbox"/> 232
<input checked="" type="checkbox"/> 233	<input checked="" type="checkbox"/> 234	<input checked="" type="checkbox"/> 235	<input checked="" type="checkbox"/> 236	<input checked="" type="checkbox"/> 237	<input checked="" type="checkbox"/> 238	<input checked="" type="checkbox"/> 239	<input checked="" type="checkbox"/> 240
<input checked="" type="checkbox"/> 241	<input checked="" type="checkbox"/> 242	<input checked="" type="checkbox"/> 243	<input checked="" type="checkbox"/> 244	<input checked="" type="checkbox"/> 245	<input checked="" type="checkbox"/> 246	<input checked="" type="checkbox"/> 247	<input checked="" type="checkbox"/> 248
<input checked="" type="checkbox"/> 249	<input checked="" type="checkbox"/> 250	<input checked="" type="checkbox"/> 251	<input checked="" type="checkbox"/> 252	<input checked="" type="checkbox"/> 253	<input checked="" type="checkbox"/> 254	<input checked="" type="checkbox"/> 255	<input checked="" type="checkbox"/> 256

設定

プリセットシーケンス1、プリセットシーケンス2、プリセットシーケンス3
 プリセットシーケンスを設定することができます。

- ・ [全選択] ボタン：すべてのプリセットポジションを選択します。
- ・ [全解除] ボタン：すべての選択を解除します。
- ・ 1～256：対応するプリセットポジションの有効/無効を切り替えます。
- ・ [設定] ボタン：作成したプリセットシーケンスの設定を保存します。

初期設定：すべて有効（登録されているプリセットポジションのみ動作）

46 自動追尾情報付加の初期値を変更

(取扱説明書 操作・設定編 PTZに関する設定を行う [PTZ] – 自動追尾に関する設定を行う (自動追尾設定画面) – [自動追尾情報付加])

自動追尾付加情報の初期設定を「On (ライブ画表示あり)」に変更しました。

[自動追尾情報付加]

画像に自動追尾情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかを以下から選択します。

Off : 画像に自動追尾情報を付加しません。

On (ライブ画表示なし) : 画像に自動追尾情報を付加しますが、自動追尾中の物体に対するターゲット枠をライブ画には表示しません。

On (ライブ画表示あり) : 画像に自動追尾情報を付加し、自動追尾中の物体に対するターゲット枠をライブ画に表示します。

初期設定 : On (ライブ画表示あり)

47 未登録ユーザーの初期設定値を「使用する」に変更

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理] - ユーザー認証を設定する [ユーザー認証] - [未登録ユーザー])

ユーザー管理ページの[ユーザー認証]タブにおいて、[未登録ユーザー]の初期設定値を変更しました。

- ・ [未登録ユーザー]

未登録ユーザーを設定するかどうかを選択します。「使用する」を選択すると、ユーザー認証されていない未登録のユーザーに対し、使用できる機能と使用できない機能を設定できます。

初期設定：使用する

48 SNMPをデフォルト状態では使用しない設定（無効）に変更

（取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - SNMPを設定する）

ネットワークページの[アドバンス]タブの[SNMP]において、「有効/無効」のデフォルトを「無効」に変更しました。



SNMP設定

・ [SNMP設定]

SNMP機能の有効/無効を設定します。

初期設定：無効

49 最長露光時間の設定による自動追尾機能への影響について

(取扱説明書 操作・設定編 PTZに関する設定を行う [PTZ] – 自動追尾に関する設定を行う (自動追尾設定画面))

(取扱説明書 操作・設定編 PTZに関する設定を行う [PTZ] – 自動追尾アラーム設定に関する設定を行う (自動追尾アラーム設定画面))

[最長露光時間]の設定により自動追尾機能の追従性能が低下することがある為、お知らせの記載を変更しました。

お知らせ

- ・ 以下の場合、自動追尾に関する設定はできません。
 - [撮像モード] が「16:9モード(60fpsモード)」、「16:9モード(50fpsモード)」、「4:3モード(15fpsモード)」、「4:3モード(12.5fpsモード)」のとき
- ・ 以下の場合、自動追尾に関する設定はできますが、自動追尾の追従性能が低下します。
 - [画質調整]の[光量制御モード]の[最長露光時間]が「最大 2/30s」、「最大 4/30s」、「最大 6/30s」、「最大 10/30s」、「最大 16/30s」のとき (自動追尾においては「最大 1/30s」の設定を推奨します。)

50 設定データのリストア操作で反映されない設定について

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] - 設定データ・ログをバックアップ/リストアする [データ])

設定データのリストア操作で反映されない機能の設定について、お知らせに記載を追加しました。

リストア

・ [設定データ]

[ファイルを選択] ボタンを押して、リストアしたい設定データのファイルを選択します。

ラジオボタンをクリックしてリストア時にネットワークに関する設定内容もリストアするかどうか選択します。

[実行] ボタンをクリックすると、リストアが始まります。リストア完了後は再起動しますので、リストアが完了するまで画面を操作しないでください。

リストア時に使用する設定データのファイル名は、必ず「機種名.dat」(機種名は小文字で、「WV-」(は不要) にしてください。

初期設定：ネットワーク関連の設定を除くすべての設定データをリストアする

重要

- ・ 設定データのリストアに5分以上の時間を要する場合には、通信が切断されるなどにより、リストアに失敗している可能性があります。リストアを再度実施してください。

お知らせ

- ・ IEEE 802.1X関連の設定については、設定データのリストア操作では反映されません。
- ・ ネットワーク関連の以下設定については、設定データのリストア操作では反映されません。
 - [通信速度]
 - [配信量制御(ビットレート)]
- ・ UPnP関連の設定については、設定データのリストア操作では反映されません。
- ・ HTTPS関連の設定 (CA証明書、CRT鍵を含む) については、設定データのリストア操作では反映されません。
- ・ 機能拡張ソフトウェア関連の設定については、設定データのリストア操作では反映されません。

51 CSR作成画面にSAN(サブジェクト代替名)の入力欄を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - HTTPSの設定方法)
CSR作成画面にSANの入力欄を追加しました。

- 1 [CA証明書-署名リクエスト(CSR)生成] の [実行] ボタンをクリックします。
→「CA証明書-署名リクエスト(CSR)生成」ダイアログが表示されます。

CA証明書 - 署名リクエスト(CSR)生成		
ホスト名	<input type="text"/>	
サブジェクト代替名	<input type="text"/>	
国名	<input type="text"/>	
都道府県名	<input type="text"/>	
市区町村名	<input type="text"/>	
組織名	<input type="text"/>	
部署名	<input type="text"/>	
CRT鍵	RSA鍵長	2048bit
	更新日時	2023/12/22 13:15:41
		<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

- 2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
[ホスト名]	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
[サブジェクト代替名]	ドメイン名を入力します。	1件あたり64文字 登録可能ドメイン数：8件
[国名]	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
[都道府県名]	都道府県名を入力します。	128文字
[市区町村名]	市区町村名を入力します。	128文字

項目	説明	入力可能文字数
[組織名]	組織名を入力します。	64文字
[部署名]	部署名を入力します。	64文字
[CRT鍵]	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	-

お知らせ

- ・ CA証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- ・ [ホスト名]、[都道府県名]、[市区町村名]、[組織名]、[部署名] で入力可能な文字は、0～9 (半角)、A～Z (半角)、a～z (半角)、半角記号「-」「.」「_」「,」「+」「/」「()」です。
- ・ [サブジェクト代替名]で入力可能な文字は、0～9 (半角)、A～Z (半角)、a～z (半角)、半角記号「.」「:」「*」「,」「-」です。
- ・ [サブジェクト代替名] に複数のドメイン名を入力する場合は、「,」で区切ってください。

52 データ暗号の初期パスワードを変更

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する【ユーザー管理】-データ暗号を設定する【データ暗号】)

データ暗号の初期パスワードを空欄に変更しました。

ユーザー管理ページの【データ暗号】をクリックします。(→設定メニューの表示・操作：「2.2.1 表示のしかた」、「2.2.2 操作のしかた」)

ここでは、データ暗号に関する設定を行います。

【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】【miniL】【PTZ S】【PTZ B】【PT】の場合設定画面の左側にある+印をクリックすると、項目が展開され詳細な設定ができるようになります。

展開された各項目の左側にある-印をクリックすると、項目が展開される前の画面に戻ります。



- ・ **【データ暗号 (一括変更)】**

データ暗号を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

On : データ暗号を有効にします。ストリーム(1)、ストリーム(2)、ストリーム(3)、ストリーム(4)、JPEG(1)、JPEG(2)、及び音声の「AAC-LC」を暗号化します。

Off : データ暗号を無効にします。

初期設定 : Off

- ・ **【ストリーム(1)】、【ストリーム(2)】、【ストリーム(3)】、【ストリーム(4)】、【JPEG(1)】、【JPEG(2)】**

ストリーム(1)、ストリーム(2)、ストリーム(3)、ストリーム(4)、JPEG(1)、JPEG(2)を個別にデータ暗号を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : Off

・ **[暗号化パスワード]、[暗号化パスワード再入力]**

データ暗号化のパスワードを設定します。

入力可能文字数 : 4~16文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

初期設定 : 空欄

重要

- ・ データ暗号を「On」に設定する場合、ストリームの合計ビットレートが16 Mbps以下となるように設定することを推奨いたします。
- ・ JPEGのデータ暗号を「On」に設定すると、映像をブラウザで閲覧することはできなくなります。
暗号化されている映像を閲覧するためには、対応の当社機器をご使用ください。
- ・ データ暗号化されたMP4ファイル、およびJPEG画像は、ブラウザの再生ページでは閲覧することができません。PCにダウンロードして復号ツールを使用して確認してください。
復号ツールについては、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号 : C0310>を参照してください。
- ・ データ暗号を「On」に設定すると、マルチスクリーンの「レイアウト」プルダウンメニューの「16分割」が選択できません。

【Multi】の場合

ユーザー認証	ホスト認証	システム	IEEE 802.1X	データ暗号	セキュリティ
データ暗号					
ストリーム(1)		<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off		
ストリーム(2)		<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off		
暗号化パスワード		<input type="password"/>			
暗号化パスワード再入力		<input type="password"/>			
<p>「暗号化」を設定する場合、録画データや録音データも暗号化されます。 データ暗号は「ストリーム(1)」「ストリーム(2)」のみ有効にできます。</p>					
設 定					

・ **[ストリーム(1)]、[ストリーム(2)]**

ストリーム(1)、ストリーム(2)のデータ暗号を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : Off

・ **[暗号化パスワード]、[暗号化パスワード再入力]**

データ暗号化のパスワードを設定します。

入力可能文字数 : 4~16文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

初期設定 : 空欄

重要

- ・ JPEGはデータ暗号化できません。
- ・ データ暗号を「On」に設定する場合、ストリームの合計ビットレートが64Mbps以下となるように設定することを推奨いたします。
- ・ データ暗号化されたMP4ファイルは、ブラウザーの再生ページ（→1.6 SDメモリーカードの画像を再生する）では閲覧することができません。PCにダウンロードして復号ツールを使用して確認してください。
復号ツールについては、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号 : C0310>を参照してください。

53 HTTPS接続方法の選択肢の名称を変更/ [TLS1.2]の有効/無効を設定可能に変更

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] –ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –HTTPSを設定する)

HTTPとHTTPS接続を行うときの選択肢の名称を変更しました。
[TLS1.2]の有効/無効を設定できるように変更しました。

[HTTPS-接続方法]

本機への接続方法を設定します。

HTTP & HTTPS : HTTPとHTTPS接続が可能になります。

HTTPS : HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP & HTTPS

HTTPS接続時に使用するTLSを選択します。

TLS1.1、TLS1.2 : 有効/無効を設定します。

TLS1.3 : 常に有効で、無効に設定することはできません。

初期設定 : TLS1.1 : 無効、TLS1.2 : 有効、TSL1.3 : 有効

お知らせ

- TLS1.1を有効にするとTLS1.2も有効になります。
- TLS1.2を無効にするとTLS1.1も無効になります。
- TLS1.2の設定が変更された場合、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] –HTTPSの設定方法)

HTTPS	
接続方法	<input type="button" value="HTTP & HTTPS"/> 「HTTPS」で接続すると、最大配信量が32Mbpsに制限されます。 <input type="checkbox"/> TLS1.1 <input checked="" type="checkbox"/> TLS1.2 <input checked="" type="checkbox"/> TLS1.3
証明書の選択	<input type="button" value="プリインストール"/>
HTTPSポート番号	<input type="text" value="443"/> (1-65535)
プリインストール証明書	
ルート証明書取得	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書	
CRT鍵生成	<input type="button" value="実行"/>
署名リクエスト(CSR)生成	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書インストール	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません <input type="button" value="実行"/>
情報	無効 <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="button" value="設定"/>	

- ① HTTPSの接続設定 (→2.10.3.3 HTTPSの接続設定)
- ② 証明書の選択 (→2.10.3.1 HTTPSアクセスする時に使用する証明書の選択)
- ③ ルート証明書の取得 (→2.10.3.2 ルート証明書の取得)
- ④ CRT鍵 (SSL暗号化キー) の生成 (→2.10.3.4 CRT鍵 (SSL暗号化キー) の生成のしかた)
- ⑤ 署名リクエスト (CSR) の生成 (→2.10.3.5 署名リクエスト (CSR) の生成のしかた)
- ⑥ CA証明書のインストール (→2.10.3.6 CA証明書のインストールのしかた)

54 HTTPアラーム通知に「診断」機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] -アラーム通知に関する設定を行う [通知] -HTTPアラーム通知について設定する)

HTTPアラーム通知に「診断」機能を追加しました。

HTTPアラーム通知

- ・ [通知先 1] ~ [通知先 5]

HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は5件まで設定できます。

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

初期設定 : http://

入力例 :

http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号 https://IPアドレス:ポート番号、または、https://ホスト名:ポート番号

- ・ 「アラーム」欄

チェックを入れると、アラーム発生時、HTTPアラーム通知を行います。

- ・ 「診断」欄

チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカード認識エラー時、SDメモリーカード書き込みエラー時、機能拡張ソフトウェアの試用期間満了時、HTTPアラーム通知を行います。

- ・ 「削除」ボタン

このボタンをクリックすると、その項目に設定されている通知先、ユーザー名、パスワード、通知データがすべて削除されます。

- ・ [ユーザー名]

HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 0~63文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

初期設定 : 空欄

- ・ [パスワード]

HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 0~63文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

初期設定：空欄

お知らせ

・ HTTPサーバーの認証要求によりBasic認証またはDigest認証を行います。

・ **[通知データ]**

[通知先 1] ～ [通知先 5] に設定したHTTPサーバーの後ろに付加する通知内容を設定します。

入力可能文字：半角英数字、半角記号

初期設定：/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01

55 セキュリティに関する設定機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理])

設定画面[セキュリティ]を[ユーザー管理]メニューに追加しました。
ここでは、セキュリティに関する設定を行います。

ユーザー認証	ホスト認証	IEEE 802.1X	データ暗号	セキュリティ
ブルートフォース攻撃対策				
ブラウザアクセス	ブロック期間	<input type="text" value="30"/>	s (10-1000s)	
ブラウザアクセス	ブロック条件	<input type="text" value="5"/>	回 (1-5回) /	<input type="text" value="10"/> s (1-100s)
SNMP/FTPアクセス	ブロック期間	<input type="text" value="30"/>	s (10-1000s)	
SNMP/FTPアクセス	ブロック条件	<input type="text" value="5"/>	回 (1-5回) /	<input type="text" value="10"/> s (1-100s)
ブラウザアクセス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		※ブラウザアクセス許可設定を「無効」に設定するとブラウザにアクセスできなくなります。	
設 定				

セキュリティを設定する [セキュリティ]

ブルートフォース攻撃対策

ブルートフォース攻撃対策に関する設定を行います。

[ブロック条件]で設定した時間当たりの回数、ユーザー名もしくはパスワードを間違えると[ブロック期間]で設定した期間、ブラウザもしくはSNMP/FTPにアクセスできなくなります。

例えば上記画面の設定([ブラウザアクセス ブロック期間] : 30s、[ブラウザアクセス ブロック条件](回) : 5回、[ブラウザアクセス ブロック条件](s) : 10s)の場合、10秒間に5回ログインに失敗すると30秒間ログインページが表示されなくなります。

・ ブラウザアクセス ブロック期間(s)

ブラウザにアクセスできなくなる時間を設定します。

入力範囲 : 10~1000(s)

初期設定 : 30(s)

・ ブラウザアクセス ブロック条件 - 入力範囲(回)

ブラウザへのアクセスを禁止する条件(入力可能回数)を設定します。

入力範囲 : 1~5(回)

初期設定 : 5(回)

・ ブラウザアクセス ブロック条件 - 入力範囲(s)

ブラウザへのアクセスを禁止する条件(判定時間)を設定します。

入力範囲 : 1~100(s)

初期設定 : 10(s)

・ 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】【miniL】【PTZ S】【PTZ B】【PT】

SNMP/FTPアクセス ブロック期間(s)

SNMP、FTPにアクセスできなくなる時間を設定します。

入力範囲 : 10~1000(s)

初期設定 : 30(s)

・ 【Multi】

SNMPアクセス ブロック期間(s)

SNMPにアクセスできなくなる時間を設定します。

入力範囲 : 10~1000(s)

初期設定 : 30(s)

・ 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】【miniL】【PTZ S】【PTZ B】【PT】

SNMP/FTPアクセス ブロック条件 - 入力範囲(回)

SNMP、FTPへのアクセスを禁止する条件(入力可能回数)を設定します。

入力範囲 : 1~5(回)

初期設定 : 5(回)

・ 【Multi】

SNMPアクセス ブロック条件 - 入力範囲(回)

SNMPへのアクセスを禁止する条件(入力可能回数)を設定します。

入力範囲 : 1~5(回)

初期設定 : 5(回)

・ 【SSeriesS】【SSeriesH】【fisheye】【miniAI】【miniL】【PTZ S】【PTZ B】【PT】

SNMP/FTPアクセス ブロック条件 - 入力範囲(s)

SNMP、FTPへのアクセスを禁止する条件(判定時間)を設定します。

入力範囲 : 1~100(s)

初期設定 : 10(s)

・ 【Multi】

SNMPアクセス ブロック条件 - 入力範囲(s)

SNMPへのアクセスを禁止する条件(判定時間)を設定します。

入力範囲 : 1~100(s)

初期設定 : 10(s)

お知らせ

- ・ [ブルートフォース攻撃対策]のブラウザアクセスのブロックを使用する場合は、[ユーザー認証]タブの[ユーザー認証]を「On」に設定してください。

・ **ブラウザアクセス**

ブラウザアクセスを許可するかどうかを有効/無効で設定します。

初期設定 : 有効

重要

- ・ [ブラウザアクセス]を「無効」に設定するとライブ画へのアクセスができなくなります。
- ・ [ブラウザアクセス]を「無効」から「有効」に戻すには、設定データ初期化が必要になります。
設定内容の初期化方法については、カメラの取扱説明書を参照してください。

56 SNMP認証方式から「MD5」を削除

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] - SNMPを設定する)

SNMPv3の[認証方式]から「MD5」を削除しました。

SNMPエージェント設定

- ・ **[SNMPv3] - [認証方式]**

SNMPv3の認証方式を表示しています。

お知らせ

- ・ [認証方式]を「MD5」に設定した状態からバージョンアップを行った場合、[認証方式]は「MD5」で動作します。[設定]ボタンをクリックする事で[認証方式]は「SHA1」に変更されます。

- ・ **[SNMPv3] - [暗号化方式]**

SNMPv3の暗号化方式をDES/AESから選択します。

初期設定 : DES

- ・ **[SNMPv3] - [パスワード]**

SNMPv3のパスワードを設定します。

入力可能文字数 : 空欄または、8~20文字

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」「&」

57 IEEE 802.1Xの[EAP方式]から「EAP-MD5」を削除

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理] – IEEE 802.1Xを設定する [IEEE 802.1X])

IEEE 802.1Xの[EAP方式]から「EAP-MD5」を削除しました。

- ・ **[EAP方式]**
認証方式を「EAP-PEAP」、「EAP-TLS」から選択します。

お知らせ

- ・ [EAP方式]を「EAP-MD5」に設定した状態からバージョンアップを行った場合、[EAP方式]は「EAP-MD5」で動作します。[設定]ボタンをクリックする事で[EAP方式]は選択しているEAP方式に変更されます。

58 ライブ画ページでのH.265描画性能改善

ライブ画ページで高解像度・高フレームレートでの表示が可能になります。解像度、フレームレート、ビットレートの組み合わせによる条件や必要なPCスペックについては、弊社のサポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information<管理番号 : C0132>

59 自動ポジションリフレッシュ機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 PTZに関する設定を行う [PTZ] –カメラの動作に関する設定を行う [カメラ動作]）

自動ポジションリフレッシュ機能を[PTZ]の[カメラ動作]に追加しました。自動ポジションリフレッシュ機能をOnにすることでパン（旋回）角度が一定量ずれた時に、自動でポジションリフレッシュして元の位置に移動します。

カメラ動作	ポジション	自動追尾設定	自動追尾アラーム設定
基本設定			
ホームポジション設定	Off		
セルフリターン	Off		
セルフリターン時間	1min		
上下反転	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
光学ズーム最大倍率	制限なし		
HD EX光学ズーム	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
デジタルズーム	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
カメラ位置表示	パン・チルト角度/倍率表示		
動作モード表示	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
チルト範囲指定	0°		
設定			
高度な設定			
光学ズーム最高速	高速		
パンチルト 最高速	制限なし		
最短撮影距離	制限なし		
二重像低減	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
自動ポジションリフレッシュ	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
設定			

[自動ポジションリフレッシュ] [Z4] [Z2] [Z1]

自動ポジションリフレッシュをONに設定すると、パン（旋回）角度が一定量ずれた場合、

自動でポジションリフレッシュして元の位置に移動します。

[On] : 自動でポジションリフレッシュを実施する。

[Off] : 自動でポジションリフレッシュを実施しない。

初期設定 : Off

av1121-12054 PGQQ1495MA/C1